

1. 基本情報						
事務事業コード	010600100020101	事務事業名	林業総務管理事務事業	担当部	農林水産部	
				担当課	林務水産課	
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		グループ	林務水産G	
施策名	1	農林水産業費の振興		電話番号	0995-45-5111	
基本事業名	1	農林漁業経営体への支援		内線番号	2371	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 不明)	
	款	06 農林水産業費			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )	
	項	02 林業費				
	目	01 林業総務費			根拠法令・条例等	
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【臨時職員雇用事務】  
 ・林務業務を円滑に実施するとともに、課内及び各総合支所における庶務の一部を行うため、臨時職員を雇用する事務  
 【公用車の燃料費・修繕料・保険料】  
 ・林務業務遂行のための、課内及び各総合支所における公用車管理費用

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 臨時職員の雇用数	件	4	4	4	4	4
イ 公用車の台数	台	5	5	5	5	5
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 課内の各種業務							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 円滑に実施される							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市経営健全化推進計画(第2次/改定版)(平成26年12月策定)において、持続可能な健全財政を確立するため歳出削減に関する取組を全庁的に推進する必要があるとされ、その中で、需用費や役員費については常にコストを意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・水道の浪費等を厳に慎むことで節減に努め、また、ランニングコスト削減に資する機器の導入等を検討し、維持管理費の削減に努めることとされている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			0	0	0
		県支出金	千円			0	0	0
		地方債	千円			0	0	0
		その他	千円			0	0	0
		一般財源	千円			2,451	2,829	2,829
		事業費	千円	0	0	2,451	2,829	2,829
投入量								

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【臨時職員雇用事務】                      事務補佐員雇用 5,300円×16日×4月×1人=339,200円                      事務補佐員雇用 5,300円×15日×5月×3人=1,192,500円                      期末加給 50,000円×1人=50,000円</p> <p>【公用車の燃料費・修繕料・保険料】                      ・燃料費 81,118円                      ・修繕料 272,886円                      ・保険料 118,812円</p>	<p>【臨時職員雇用事務】                      ・事務補佐員雇用を4名雇用し、事務の補佐に取り組んでもらうことで、林務水産を円滑に遂行することができ、もって課内及び各総合支所の他の業務も円滑に進めることができた。</p> <p>【公用車の燃料費・修繕料・保険料】                      ・現場確認や各種会合への参加に必要不可欠として活用できた。</p>

事務事業コード	0106020100020101	事務事業名	林業総務管理事務事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
B 有効性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	国庫補助金等に一部振り分けて、市の負担軽減を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 削減できない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できる		
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 <>								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	多様化する行政要請や、職員減等で事務量が増加しており、非常勤職員の補佐は今後も必要である。広域な霧島市の現場や連絡調整に公用車を活用できた。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	多様化する行政要請や、職員減等で事務量が増加しており、非常勤職員の補佐は今後も必要である。広域な霧島市の現場や連絡調整に公用車を活用できた。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0106030100020101	事務事業名	水産業総務管理事務事業			担当部	農林水産部
						担当課	林務水産課
政策名	3	活力ある産業のまちづくり			グループ	林務水産グループ	
施策名	1	農林水産業費の振興			電話番号	0995-45-5111	
基本事業名	1	農林漁業経営体への支援			内線番号	2371	
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 不明)	
	款	06 農林水産業費				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )	
	項	03 水産業費					
	目	01 水産業総務費				根拠法令・条例等	
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価		関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
水産業振興のための必要最低限の事務費を執行する。消耗品費11千円、旅費2千円						

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 事務用品の購入費	円	11	11	6	11	11
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 海面漁業者							
イ							
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安心して漁業活動を行う							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 漁業者の経営安定							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
漁業者の高齢化や漁業者の減少で、水産業を取り巻く環境は、年々厳しくなっている。漁業者が安心して漁業活動ができるように市が管理する漁港の必要な消耗品等の購入の要望がある。

4. 事業費の推移	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費 投入量	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			6	13	46
	事業費	千円	0	0	6	13	46

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
市が管理する漁港の管理事務上必要な事務用品等の購入の執行を行った。	漁港管理の事務が適正に行われた。

事務事業コード	0106030100020101	事務事業名	水産業総務管理事務事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
<input type="checkbox"/> 結びついていない			
② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？			
<input type="checkbox"/> 妥当である			
<input type="checkbox"/> 見直す必要がある			
③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？			
<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある			
<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある			
<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない			
④ 廃止・休止の影響はありませんか？			
<input type="checkbox"/> 影響がある	類似事業がある場合の事務事業名等		
<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない			
⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない			
<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない			
<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる			
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	必要最小限の事務費のためこれ以上の削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない	最小限の人員で行っているためこれ以上の削減はできない。	
<input type="checkbox"/> 削減できる			
D 公平性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
<input type="checkbox"/> 削減できる			
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
<input type="checkbox"/> 見直す必要がある			

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 << >>								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	非常に少ない予算のなかで改革改善は難しい。							
(3)平成28年度の方 向性・取組目標	事業関係ヒアリング時の旅費や水産業振興のための研修旅費等の事務費がないため予算流用で対応している状況。今後は、適正な予算執行のため必要な予算、当初予算で要求して予算措置することが必要。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								



1. 基本情報						
事務事業コード	010600200020101	事務事業名	林業振興総務管理事務事業		担当部	農林水産部
					担当課	林務水産課
政策名	3	活力ある産業のまちづくり			グループ	森林整備G,林務水産G
施策名	1	農林水産業費の振興			電話番号	45-5111
基本事業名	1	農林漁業経営体への支援			内線番号	2363
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 不明)	
	款	06 農林水産業費			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )	
	項	02 林業費				
	目	02 林業振興費			根拠法令・条例等	
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【積算システムリース契約及び保守契約事務】  
 ・工事請負、修繕などの設計額を積算するシステムのリース契約及び保守契約を行う事務

【先進地研修】  
 ・林業先進技術等を学ぶ研修

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 積算システムリース契約による積算システムの利用回数	回			200	200	200
イ 先進地への研修回数	回			1	1	1
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 課内の各種業務							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 円滑に実施される							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 効率的に作業できる基盤が整う							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市経営健全化推進計画(第2次/改定版)(平成26年12月策定)において、持続可能な健全財政を確立するため歳出削減に関する取組を全庁的に推進する必要があるとされ、その中で、需用費や役務費については常にコストを意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・水道の浪費等を厳に慎むことで節減に努め、また、ランニングコスト削減に資する機器の導入等を検討し、維持管理費の縮減に努めることとされている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			0	0	0
		県支出金	千円			0	0	0
		地方債	千円			0	0	0
		その他	千円			0	0	0
		一般財源	千円			1,050	1,069	1,069
		事業費	千円	0	0	1,050	1,069	1,069

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

<p>【積算システムリース契約及び保守契約事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リース契約 1件 使用料及び賃借料 630千円</li> <li>保守契約 1件 委託料 401千円</li> </ul> <p>【先進地研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岡山県 旅費 20千円</li> </ul>	<p>【積算システムリース契約及び保守契約事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積算システムのリース・保守契約により、設計額の積算が円滑に行われた。</li> </ul> <p>【先進地研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>林業先進地への研修を行い、林業事業者の育成に反映することができた。</li> </ul>
--	--

事務事業コード	0106020200020101	事務事業名	林業振興総務管理事務事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
<input type="checkbox"/> 結びついていない			
② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？			
<input type="checkbox"/> 妥当である			
<input type="checkbox"/> 見直す必要がある			
③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？			
<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある			
<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある			
<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない			
④ 廃止・休止の影響はありませんか？			
<input type="checkbox"/> 影響がある	類似事業がある場合の事務事業名等		
<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない			
⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)			
<input type="checkbox"/> 類似の事業はない			
<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない			
<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる			
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	既に最小限の事務量となっており、これ以上削減は困難である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	既に最小限の事務量となっており、これ以上削減は困難である。	
⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？			
<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる			
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 <>								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な積算システムのリース契約及び保守契約を行う。</li> <li>霧島市の林業へ活かすことのできる事業、施設、技術等を持った先進地への研修を行う。</li> </ul>							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な積算システムのリース契約及び保守契約を行う。</li> <li>霧島市の林業へ活かすことのできる事業、施設、技術等を持った先進地への研修を行う。</li> </ul>							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								





平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0106000101010201	事務事業名	飲雑用水施設管理事業	担当部	農林水産部		
				担当課	林務水産課		
政策名	01	快速で魅力あるまちづくり		グループ	森林整備グループ		
施策名	01	生活基盤の充実		電話番号	45-5111		
基本事業名	02	安全で良質な水の安定供給		内線番号	2361		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条例等	霧島市飲雑用水施設設置管理規定	
	項	02 林業費					
	目	01 林業総務費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市内には60数箇所の飲雑用水施設があり、地元水道組合等が適正な管理を行い、各家庭へ安定した水を供給している。国分地区の飲雑用水施設においては、市で施設の整備を行い、それぞれの地区の水道組合と管理委託契約を締結した施設が20箇所ある。施設が個人敷地に設置されているため分筆登記を行い、霧島市所有地にすることで今後も適正な管理ができる。朴木地区水道組合水源地への道が無いため組合員は管理に苦慮している。飲雑用水管理道を整備することで、安心・安定な水供給と安全な維持管理を行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 分筆実施施設数	箇所	6	0	0	2	2
イ 管理道整備延長	m	0	0	83	80	80
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 飲雑用水施設							
イ 飲雑用水管理道							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 分筆登記							
イ 整備される							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安全で良質な水を安定して供給できる							
イ 安全で良質な水を安定して供給できる							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等**  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

地域住民の生活向上のため、飲雑用水施設の整備は不可欠であり、安心安全な水を供給することが目的である。施設が個人敷地に設置してある箇所を分筆し、霧島市所有にすることで、適正な管理が可能となる。管理道の整備を行うことで安心安全な水供給が可能となる。今後は施設の老朽化が進んでいるため、耐久性の調査や再造成を検討していかなければならない。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	2,684	15,235	1,881	59,300
事業費		千円	0	2,684	15,235	1,881	59,300
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・朴木地区飲雑用水施設管理道関連事業 (管理道開設・分筆測量委託) 1,728,000円</li> <li>・木場深迫地区飲雑用水施設仮設送水関連事業 (送水管材・代用井戸調査・漏水調査・漏水修繕・仮設送水設計委託・仮設送水管設置工事) 10,356,282円</li> <li>・木場深迫地区飲雑用水施設水源電気探査業務 2,376,000円</li> <li>・上之段地区飲雑用水施設電気設備調査業務 (電気調査・掘削調査) 774,360円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朴木地区飲雑用水施設管理道の一部が完成した。</li> <li>・木場深迫地区の水源井戸枯渇に対し、仮設送水管が設置でき水の供給が確保された。また、電気探査調査により地区に必要な水量の可能性が見い出された。</li> <li>・上之段地区の埋設電気設備の不良箇所を特定・修繕でき、安心安全な水の供給ができた。</li> </ul>





平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0106000101040201	事務事業名	治山事業	担当部	農林水産部		
				担当課	林務水産課		
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		グループ	森林整備グループ		
施策名	04	防災対策の推進		電話番号	45-5111		
基本事業名	02	災害危険箇所の整備		内線番号	2362		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 37 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条例等	森林法・地方自治法	
	項	02 林業費					
	目	04 治山事業費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

治山事業の実施(構造物・掘削・植栽等)により山林等の保護を図り、公共施設及び人家等を守る。  
 ①県単補助治山事業(事業主体・市)1箇所の事業費が80万円以上800万円以下であって、次に該当するもの。  
 人家等2戸以上の保護・その他(県補助70%、住民分担10%)  
 ②県営県単治山事業(事業主体・県)1箇所の事業費が80万円以上800万円以下であって、次に該当するもの。  
 公共施設の保護・重要なため池又は用排水施設の保護・農地2ha・その他(市10%負担、住民分担なし)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 施工箇所数	箇所	5	7	3	5	6
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 公共施設(道路・水路・河川・建物) 農地・ため池・人家・山林							
イ							
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 森林崩壊地の早期復旧により、公益的機能の回復を図る。							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安全性が確保される。							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

県が国の補助に適用しない荒廃地の復旧及び荒廃の恐れのある山地の予防工事を行うため、昭和37年7月1日に要綱を制定し、事業が開始された。市民の治山事業への理解や関心が高まり、市民からの要望が増加傾向にある。森林所有者や市民から治山事業の推進要望がある。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	16,016	5,250	5,600	5,600	5,600
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	2,288	750	800	800	800
	一般財源	千円	10,147	10,324	4,301	5,100	5,100
	事業費	千円	28,451	16,324	10,701	11,500	11,500
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
県単補助治山事業1箇所(横川町柴建地区) 県営県単治山事業2箇所(横川町迫田地区・国分白鳥地区) (繰越)県単補助治山事業1箇所(牧園中福良地区)	事業実施により山地崩壊に不安を抱えている人家や、多くの人が利用する公共施設等の安全性が向上された。

事務事業コード	0106020401040201	事務事業名	治山事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	治山事業については、標準工法による工法及び整備が原則となっており、削減する余地はない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	山地防災ヘルパーや地元OB等が事業推進員として、サポートしていただく部分もあるが、用地交渉や負担金の兼合いもあり、事務処理については職員で対応しているため、削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	その年度での豪雨により治山要望箇所が変動するが、基本的な部分は市民の生命財産を守ることであり、必要不可欠である。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	その年度での豪雨により治山要望箇所が変動するが、基本的な部分は市民の生命財産を守ることであり、必要不可欠である。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性									
(2)総評									



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0111000101040701	事務事業名	現年公共施設災害復旧事業	担当部	農林水産部	
				担当課	林務水産課	
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		グループ	林務水産G	
施策名	04	防災対策の推進		電話番号	45-5111	
基本事業名	07	災害復旧対策の推進		内線番号	2371	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 不明)		
	款	11 災害復旧費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	項	03 その他公共施設・公用施設災害復旧費				
	目	01 公共施設災害復旧費		根拠法令・条例等		
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【水産施設の災害復旧】  
 ・水産施設等が天然現象などにより被災した場合災害復旧を行う。  
 災害復旧の流れ  
 被害発生→二次被害発生の防止→調査・設計・事業費の決定→施工→完成

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 災害復旧箇所数	箇所			1	1	1
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 水産施設							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 原形復旧される							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 被災箇所が復旧される							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

水産施設が天然現象等により被災した場合、単独事業災害復旧事業にて復旧する。迅速な復旧が求められることから、日ごろより施設の状況把握に努める。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			215	1,000	1,000
	事業費	千円	0	0	215	1,000	1,000
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
・土砂浚渫 1件 使用料及び賃借料 215千円	・土砂浚渫することにより、漁船の運行が支障なく行われるようになった。



事務事業コード	0111030101040701	事務事業名	現年公共施設災害復旧事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	仕様や工法決定の段階で事業費の削減を図っており、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	必要最小限の職員と事務量であり、これ以上事務を効率化できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 <>								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	災害が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	災害が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								



1. 基本情報							
事務事業コード	0111010201040701	事務事業名	補助林業施設災害復旧事業	担当部	農林水産部		
				担当課	林務水産課		
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		グループ	森林整備グループ		
施策名	04	防災対策の推進		電話番号	45-5111		
基本事業名	07	災害復旧対策の推進		内線番号	2361		
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 25 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )			
	款	11 災害復旧費		根拠法令・条例等	農林水産施設災害復旧事業費(国庫補助)の暫定措置に関する法律		
	項	01 農林水産施設災害復旧費					
	目	02 林業施設災害復旧費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

●市が管理している林道が補助対象となる条件を下記に掲げる。次に掲げる異常な天然現象により受けた災害を補助対象とする。  
 1. 災害復旧事業の対象となる災害  
 (1) とう水による災害 (2) 降雨による災害 (最大時間雨量20mm以上、最大24時間雨量80mm以上) (3) 暴風による災害 (最大風速15m以上) (4) 地震及び地すべりによる災害 (震度4以上)  
 2. 一箇所40万円以上の被害箇所  
 ●林道災害復旧事業の流れ  
 被害発生→被害報告 (60日以内に復旧事業費確定)→災害査定 (事業費決定)→施工→完成

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 災害復旧箇所数	箇所	1	0	0	2	2
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 林業用施設							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 原形復旧される							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 被災箇所が復旧される							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

市が管理する林道が豪雨等により被災した場合、事業採択要件を満たせば補助林業施設災害復旧事業にて復旧する。災害査定にて林道の維持管理状況が重視されているため、日ごろより林道のパトロールを強化・管理する。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	4,925
		地方債	千円	0	0	0	3,900
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	1,175
		事業費	千円	0	0	0	10,000
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績 (取組) による成果を記載>
26年度は補助林業施設災害復旧事業は該当なし	災害復旧事業に該当する被災はない。

事務事業コード	0111010201040701	事務事業名	補助林業施設災害復旧事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	災害査定にて必要最小限の事業費が確定するため事業費の削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	災害復旧は年度により発生件数が相違するが、件数が少数かつ県・国との直接協議のため人件費削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	災害が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	災害が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0111010201040702	事務事業名	単独林業施設災害復旧事業		担当部	農林水産部	
					担当課	林務水産課	
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり			グループ	森林整備グループ	
施策名	04	防災対策の推進			電話番号	45-5111	
基本事業名	07	災害復旧対策の推進			内線番号	2363	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ー 不明) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	11 災害復旧費			根拠法令・条例等		
	項	01 農林水産施設災害復旧費					
	目	02 林業施設災害復旧費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

<b>(1) 事務事業の概要</b> (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
●市が管理している林道・作業道・作業路が天然現象等により被災した場合に、災害復旧を行う。 ●林道災害復旧事業の流れ 被害発生→二次被害発生防止→調査・設計・事業費の決定→施工→完成						

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 災害復旧箇所数	箇所	76	34	55	60	60
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 林業用施設							
イ							
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 原形復旧される							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 被災箇所が復旧される							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
市が管理する林道が降雨等により被災した場合、単独林業施設災害復旧事業にて復旧する。迅速な復旧が求められることから、日ごろより林道のパトロールを強化・管理する。

4. 事業費の推移	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			200	5,600	5,600
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			24,712	4,400	4,400
	事業費	千円	0	0	24,912	10,000	10,000
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
林道等の災害復旧箇所数 55箇所 点検を行った路線数 93路線	林道の適切な復旧ができ、利用者の安全が守られた。

事務事業コード	0111010201040702	事務事業名	単独林業施設災害復旧事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	仕様や工法決定の段階で事業費の削減を図っており、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	必要最小限の職員と事務量であり、これ以上事務を効率化できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 <>								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	災害が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	災害が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								





平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	01106030202010102	事務事業名	水産多面的機能発揮対策事業	担当部	農林水産部		
				担当課	林務水産課		
政策名	02	自然にやさしいまちづくり		グループ	林務水産グループ		
施策名	01	自然環境の保全		電話番号	45-5111		
基本事業名	01	公共用水域の水質保全		内線番号	2371		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 22 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	項	03 水産業費					
	目	02 水産業振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

藻場・干潟は水産資源の保護・培養に重要な役割と水質浄化等の公益的機能があり、漁業者等がその機能の維持・回復に資する保全活動を国と地方自治体がそれぞれの役割に応じて支援する対策。  
 【実施主体】錦江・福山町漁協・漁業者  
 【交付率】25%  
 【事業内容】藻場の保全活動のためにアマモの移植、干潟の保全活動に稚貝の放流等 藻場・干潟の保全・回復と水質浄化を図る。  
 交付金事業で国・県・市が地域協議会へ負担金を支出し、協議会から事業主体へ交付を行う事業である。  
 この事業は、平成25年度から水産多面的機能発揮対策事業に名称変更されて引き継がれる。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア アマモの移植	回	2	2	2	2	2
イ 稚貝の放流・沈着促進	回	2	2	7	2	2
ウ 清掃活動	回	0	4	2	0	2

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 藻場・干潟	アマモの移植及び播種面積	m <sup>2</sup>	200	200	200	400	400
イ	稚貝の放流・沈着促進面積	m <sup>2</sup>	18,000	18,000	18,000	0	18,000
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 回復を図る	自然環境に寄与する人工藻場の面積/人工造成計画面積	%	4	4	4	4	4
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア ・資源の増加・水質の保全がなされる	錦江湾の環境基準点第2地点のCOD	mg/l	2	2	2	2	2
イ							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等**  
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成21年調査の水質悪化を改善するために取り組んだ。藻場が確実に減少している。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	100	125	125	125	125
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,295	1,125	1,126	1,126	1,126
	事業費	千円	1,395	1,250	1,251	1,251	1,251

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
きりしま藻場守り隊 藻場の保全 ①海藻の種苗投入 51人参加 ②アマモの移植及び播種(2*4m17枚設置) 40人参加 ③モニタリング(事業実施後の調査) 20人参加 干潟の保全 ①稚貝の沈着促進 129人参加 ②機能発揮のための生物移植 72人参加 ③モニタリング 50人参加	地域で藻場や干潟の保全活動を続けることで、きりしま地域(隼人町小浜や国分広瀬、敷根、福山地区)の藻場、干潟の保全が図られた。 特に、干潟のアサリ試験養殖については、初めての試みであったが、稚貝が順調に育ち、漁業者の漁業意識が高まったことは成果である。また、今後、漁業権を取得し、地元産として販売する計画までがっている。

事務事業コード	0106030202010102	事務事業名	水産多面的機能発揮対策事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	アマモの移植・稚貝の放流等することは、藻場・干潟の保全回復につながり、資源の増加や水域の水質の保全になされることに結びつく。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	藻場・干潟の保全・回復は湾奥の浄化につながることから妥当である	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	事業の成果にも限界があるので、事業目的以上の成果向上余地はない。	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	4年間の継続事業であり廃止できない。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費が確定しているため削減余地はない。	
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	【参考:昨年度の内容】 人件費は予算執行事務のみであり、削減余地がない。	
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	藻場・干潟の保全・回復を図るための事業であり、受益者は漁業者のみではなく一般市民となる。	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2) 平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	藻場の保全活動については、今後も継続して取り組むことが大切である。干潟の保全活動は、26年度でアサリの養殖に成果が出ているので、27年度には、地元産アサリとして販売するために漁業権の取得が必要である。							
(3) 平成28年度の方向性・取組目標	干潟の保全活動の一つであるアサリの養殖については、26年度で成果が上がっており、その成果を他の地域にも広げる活動も継続しながら28年度中にアサリ販売を開始予定。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	0110600202010201	事務事業名	松くい虫防除事業	担当部	農林水産部	担当課	林務水産課	
政策名	02	自然にやさしいまちづくり		グループ	森林整備グループ	電話番号	45-5111	
施策名	01	自然環境の保全		内線番号	2362			
基本事業名	02	森林の保全						
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S52 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )			
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条等	森林病害虫等防除法		
	項	02 林業費						
	目	02 林業振興費						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画				

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市内景勝地のレクリエーションの場に欠かすことのできない公益的機能の高い松林について、対象木593本に対し計画的に数年に分け冬期間に健康な松の樹幹に小孔をあけて予め薬剤を注入し、松くい虫被害を防止する。また、霧島地区(神話の里公園付近)においては松くい虫による被害木を伐倒・玉切りして枝条まで集積してビニールで被覆くん蒸することで、被害の拡大を防止する。  
 ※委託業者: 森林組合(指名入札5社)  
 ※薬剤残留検査: (目的: 薬剤の効果確認, 手法: 枝等を検査機関へ持ち込み, 金額: 無料)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 景勝松林樹幹注入本数	本	127	153	162	104	104
イ 伐倒・くん蒸	m <sup>3</sup>	199	304	292	350	350
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 景勝松林	景勝松対象松	本	592	592	592	592	592
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 病害虫から守る	樹幹注入本数/景勝松対象松	%	21	26	27	18	18
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 景勝松林が保全され市民などの癒しの場にもつながる。	植林された森林面積	ha	22	30	32	30	30
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

移入虫であるマツノダラカミキリ虫が媒介するマツノザイセンチュウで松が枯死するため、昭和52年度から森林の荒廃を防ぐために開始した。10年周期くらいで被害量は増えたり減ったりを繰り返している。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	4,598	6,593	6,929	6,985	6,985
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	211	228	390	416	416
	一般財源	千円	554	549	2,842	1,374	1,374
事業費		千円	5,363	7,370	10,161	8,775	8,775
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
景勝林樹幹注入事業 国分海浜公園(58本)、霧島神宮参道(89本)、国民休養地(15本) 伐倒・くん蒸事業 霧島神話の里公園周辺(292m <sup>3</sup> )	松くい虫被害を未然に防止できた。霧島神宮参道については寿命等で枯れ松が数本見受けられるので、路上等に倒れて事故が起こる前に伐倒し植替えを行うことができた。 また、伐倒・くん蒸を行っている神話の里公園付近については、枯損木を撤去し、樹種転換を図った。

事務事業コード	0106020202010201	事務事業名	松くい虫防除事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	景勝松林を病害虫から守ることで、景勝松林が保全され市民等の癒しの場にもつながる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光客や市民の訪れる憩いの場の自然環境の保全を図ることを目的としているので公共関与は妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	景勝松林は樹幹注入により被害防止効果は出ているが、霧島神話の里公園周辺の松林は毎年被害があり、伐倒・くん蒸事業と病害虫に強い黒松等に樹種転換を図る必要がある
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	松くい虫による松枯れ被害が拡大する。観光地としての景観も悪くなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費の削減は事業量(成果)の縮小に繋がる。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	委託で事業を行うため人件費には影響しない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光資源としても松林を保全することは、広く市民に有益であるので公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2) 平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	樹幹注入事業について、薬剤の残留検査等を行っていく。							
(3) 平成28年度の方向性・取組目標	県への補助事業を要望し、継続的に松等の保全に努める。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報																																																																								
事務事業コード	0110600502010201	事務事業名	企業との協働の森づくり事業				担当部	農林水産部																																																																
							担当課	林務水産課																																																																
政策名	02	自然にやさしいまちづくり				グループ	森林整備グループ																																																																	
施策名	01	自然環境の保全				電話番号	45-5111																																																																	
基本事業名	02	森林の保全				内線番号	2372																																																																	
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 19 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )																																																																	
	款	06 農林水産業費					根拠法令・条例等	なし																																																																
	項	02 林業費																																																																						
	目	05 森林整備事業費																																																																						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画																																																																			
2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>																																																																								
<b>(1) 事務事業の概要</b> (具体的なやり方、手順、詳細を記述)																																																																								
<p>企業と「森づくり事業」の協定を結び、寄付金により市有林の整備を行うものである。</p> <p>平成19年度から、トヨタ車体(株)と(株)トヨタ車体研究所より寄付金100万円を寄付いただき森林整備を実施。1期(19年度より23年度)では牧園地区の5箇所約14haで間伐・植林を実施。2期(24年度より28年度)を実施中である。森林整備を行った森林は、「トヨタ車体グループの森」と呼び、環境啓発イベント等を開催し、森林の持つ公益的機能や二酸化炭素吸収源としての森林の重要性を市民の皆さんと考える場として活用している。</p>																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>① 活動指標 (事務事業の活動量)</th> <th>単位</th> <th>24年度 (実績)</th> <th>25年度 (実績)</th> <th>26年度 (実績)</th> <th>27年度 (見込)</th> <th>28年度 (見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 「企業と協働の森」の除間伐実施面積</td> <td>ha</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ 企業からの寄付金額</td> <td>千円</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	ア 「企業と協働の森」の除間伐実施面積	ha	2	2	2	2		イ 企業からの寄付金額	千円	1,000	1,000	1,000	1,000		ウ																																									
① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)																																																																		
ア 「企業と協働の森」の除間伐実施面積	ha	2	2	2	2																																																																			
イ 企業からの寄付金額	千円	1,000	1,000	1,000	1,000																																																																			
ウ																																																																								
<b>(2) 事務事業の目的</b>																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>② 対象 (誰、何を対象にしているのか)</th> <th>③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)</th> <th>単位</th> <th>24年度 (実績)</th> <th>25年度 (実績)</th> <th>26年度 (実績)</th> <th>27年度 (見込)</th> <th>28年度 (見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 市有林</td> <td>市有林面積</td> <td>ha</td> <td>2,531</td> <td>2,531</td> <td>2,531</td> <td>2,531</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	ア 市有林	市有林面積	ha	2,531	2,531	2,531	2,531		イ								ウ																																						
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)																																																																	
ア 市有林	市有林面積	ha	2,531	2,531	2,531	2,531																																																																		
イ																																																																								
ウ																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>④ 意図 (②対象をどうしたいのか)</th> <th>⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)</th> <th>単位</th> <th>24年度 (実績)</th> <th>25年度 (実績)</th> <th>26年度 (実績)</th> <th>27年度 (目標)</th> <th>28年度 (目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 適正に管理する。</td> <td>施業実施面積</td> <td>ha</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	ア 適正に管理する。	施業実施面積	ha	2	2	2	2		イ								ウ																																						
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)																																																																	
ア 適正に管理する。	施業実施面積	ha	2	2	2	2																																																																		
イ																																																																								
ウ																																																																								
<b>(3) 上位の基本事業</b>																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)</th> <th>⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)</th> <th>単位</th> <th>24年度 (実績)</th> <th>25年度 (実績)</th> <th>26年度 (実績)</th> <th>27年度 (目標)</th> <th>28年度 (目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 森林が保全される。</td> <td>施業実施面積</td> <td>ha</td> <td>490</td> <td>476</td> <td>457</td> <td>476</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	ア 森林が保全される。	施業実施面積	ha	490	476	457	476		イ								ウ																																						
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)																																																																	
ア 森林が保全される。	施業実施面積	ha	490	476	457	476																																																																		
イ																																																																								
ウ																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)</th> <th colspan="2">4. 事業費の推移</th> <th>単位</th> <th>24年度 (決算)</th> <th>25年度 (決算)</th> <th>26年度 (決算)</th> <th>27年度 (計画)</th> <th>28年度 (計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" rowspan="7">           森林は森林資源の造成という機能だけでなく、災害防止や、二酸化炭素の吸収源としても期待されている。         </td> <td rowspan="7">事業費</td> <td rowspan="7">投入量</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>990</td> <td>988</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>990</td> <td>988</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)		4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	森林は森林資源の造成という機能だけでなく、災害防止や、二酸化炭素の吸収源としても期待されている。		事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	県支出金	千円	0	0	0	0	0	地方債	千円	0	0	0	0	0	その他	千円	0	990	988	1,000	1,000	一般財源	千円	0	0	0	0	0	事業費	千円	0	990	988	1,000	1,000							
3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)		4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)																																																															
森林は森林資源の造成という機能だけでなく、災害防止や、二酸化炭素の吸収源としても期待されている。		事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0																																																														
				県支出金	千円	0	0	0	0	0																																																														
				地方債	千円	0	0	0	0	0																																																														
				その他	千円	0	990	988	1,000	1,000																																																														
				一般財源	千円	0	0	0	0	0																																																														
				事業費	千円	0	990	988	1,000	1,000																																																														
<b>5. 平成26年度の実績及び成果</b>																																																																								
<b>(1) 平成26年度の実績(取組)</b> <取組内容を数値等により具体的に記載>																																																																								
国分川内にある鍋迫市有林2.01haにおいて、除間伐を実施した。 ・国分川内字鍋迫1081-1 委託先： 始良東部森林組合 施工地案内看板作成委託 表示看板購入ほか					<b>(2) 平成26年度の成果</b> <左記の実績(取組)による成果を記載>																																																																			
					除間伐実施により健全な市有林に整備できたことは勿論、山林に「トヨタ車体グループの森」の看板を設置し広く市民へアピールが出来た。																																																																			



事務事業コード	0106020502010201	事務事業名	企業との協働の森づくり事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ ■ 結びついている □ 間接的に結びついている □ 結びついていない	寄附金により市有林が適正な実施が行われることで、森林整備が促進されるので政策体系に結びついている。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ ■ 妥当である □ 見直す必要がある	企業とのパートナーズ協定に基づく事業であるため、全額寄附金により実施している。また、市有林であるため、市が管理を行わなければならない。	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ ■ 向上する余地はかなりある □ 向上する余地はある程度ある □ 向上する余地はほとんどない	事業により適正な森林実施が実施されることで、市有林の森林整備が促進され、周辺環境の向上が期待できる。	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ ■ 影響がある □ 影響がほとんどない	企業とのパートナーズ協定に基づく事業であり、市が一方的に廃止することはできない。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) □ 類似の事業はない ■ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	森林維持管理事業
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ ■ 削減できない □ 削減できる	財源が寄附金のみの事業のため削減はできない。	
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ ■ 削減できない □ 削減できる	作業は全て委託しており、職員の作業時間は必要最小限である。	
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていますか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ ■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	市有林の委託発注については、基本的に入札形式を採用しているため、一部の受益者に偏ることはない。	

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	本事業は、『企業と協働の森づくり事業』パートナーズ協定に基づき、平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間の期間とし、トヨタ車体株式会社、株式会社トヨタ車体研究所より頂いた寄附金(100万円)をもとに市有林の除間伐を行い、「トヨタ車体グループの森」づくりを行うものである。平成27年度も本事業を活用し、市有林の除間伐を計画的に実施する。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	『企業と協働の森づくり事業』パートナーズ協定に基づき、トヨタ車体株式会社、株式会社トヨタ車体研究所より頂いた寄附金をもとに市有林の除間伐を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								





1. 基本情報							
事務事業コード	0110600502010202	事務事業名	森林維持管理事業	担当部	農林水産部		
				担当課	林務水産課		
政策名	02	自然にやさしいまちづくり		グループ	森林整備グループ		
施策名	01	自然環境の保全		電話番号	45-5111		
基本事業名	02	森林の保全		内線番号	2372		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ー 不明) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条例等	なし	
	項	02 林業費					
	目	05 森林整備事業費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市有林を適正に管理するための整備や市有林監視人の設置、森林国営保険への加入などを行う。除間伐及び下刈等の森林整備については森林組合等の認定林業事業体に委託して行っている。森林国営保険は市有林の人工林を対象にしている。また、掛金については費用対効果を考慮し、適正な付保率となるよう努めている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市有林の施業実施面積	ha	43	45	26	27	30
イ 森林国営保険加入面積	ha	196	211	348	236	200
ウ 間伐、主伐により市有林から搬出された材積	m <sup>3</sup>	1,737	1,247	2,096	4,619	4,600

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市有林	市有林面積	ha	2,531	2,531	2,531	2,531	2,531
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 適正に管理する。	施業実施面積	ha	43	45	26	27	30
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 森林が保全される	植林された森林面積	ha	23	30	32	30	30
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

市が所有する山林を適切に維持管理するために開始した。木の林齢が高齢化していくため、今後、補助対象外の山林が増加する。そのため、市単独の除間伐事業等をする必要性が増した。環境保全の観点からも市有林の適切な整備を進めていくよう市民から要望がある。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	15,181	15,090	15,090
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	499	0	0	0
	一般財源	千円	374,978	27,241	33,083	59,077	59,077
	事業費	千円	374,978	27,740	48,264	74,167	74,167
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
①下刈 19.67ha 霧島市牧園町高千穂字柳ヶ平3242-5 ほか ②除間伐 25.95ha(補助25.95ha) 霧島市国分川内字鍋迫1081-1 ほか ③森林国営保険加入 347.93ha ④市有林監視人による巡視活動 16人	適正な市有林の維持管理が図られた。

事務事業コード	0106020502010202	事務事業名	森林維持管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市の所有する山林を適切に維持管理することによって、森林が保全されるので政策体系に結びついている。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市有林のため、市が管理を行わなければならない。	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市有林の施業(下刈、除間伐等)を適切に実施することで、成果目標の向上が期待できる。	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市有林のため、市が管理を行わなければならない。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	補助事業により、施業できる場所は積極的に補助事業を導入しているので事業費を削減することは困難である。	
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現在、市有林の施業は森林組合等の認定林業事業体に委託(入札形式)しているため、人件費の削減も困難である。	
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市有林の委託発注については、基本的に入札形式を採用しているため、一部の受益者に偏ることはない。	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	市有林の施業については、できるだけ高率の補助事業を活用するように取り組むとともに、担当者研修会等を通じて担当者間の技術、知識の共有を図りながら、適切な森林施業に取り組んでいく。維持管理については、今後も現状を維持しながら引き続き適正な事業を行う。 また、今後、伐期を迎える市有林の森林資源活用や、県平均より低い再造林率向上や、主伐、再造林の一貫作業による低コスト・省力化の実践、定着を図るため、平成27年度より皆伐、再造林の一貫作業の経費を新規に予算化し、皆伐～再造林～保育(下刈・間伐等)という森林資源循環システムの構築を進め、本市における皆伐後の再造林の促進を図る。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	市有林の適正な維持管理、適切な森林施業(除間伐等)を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0110600502010203	事務事業名	森林環境税事業	担当部	農林水産部	
				担当課	林務水産課	
政策名	02	自然にやさしいまちづくり		グループ	森林整備グループ	
施策名	01	自然環境の保全		電話番号	45-5111	
基本事業名	02	森林の保全		内線番号	2372	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H17 年度～)	
	款	06 農林水産業費			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )	
	項	02 林業費			根拠法令・条例等	
	目	05 森林整備事業費			霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市で委嘱した森林づくり推進員活動を利用し、間伐未実施林分の把握、森林所有者への間伐の督促、選木、伐採の指導及び現地調査を行い、森林の一体的かつ効率的な整備、森林の多目的な機能の維持、増進を図る。また、林業事業体へ間伐作業に必要な作業路等開設に係る経費を助成することにより、森林所有者の施業意欲が向上し、健全な森林を育み、森林の持つ公益的機能の維持を図る。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 森林づくり推進員活動	日	265	265	265	265	
イ 森林健全化整備 (森林の除間伐・再造林)	ha	42	65	49	45	
ウ 森林づくり基盤整備 (作業道・作業路・集材路の路網整備)	m	12,450	9,540	40,000	28,000	

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 森林施業計画の対象となる森林	森林施業計画面積	ha	14,605	9,832	21,964	11,000	
イ 民有林	林業作業従事者数	人	101	111	116	111	
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 計画的な森林整備が促進される	施業実施面積/森林施業計画面積	%	5	4	2	6	
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 森林が保全される	植林された森林面積	ha	23	30	32	24	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成17年度から森林環境税を財源とする事業が始まり、森林づくり推進員活動補助がスタートした。また、高齢級除間伐と作業路等の森林基盤整備に対する上乘せ補助を開始した。木材価格の低下による森林施業意欲が低下している。森林所有者から、森林を適正に保全するためさらに支援の拡充の要望がある。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	795	795	795	795	795
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,361	3,648	5,128	5,247	5,247
	事業費	千円	6,156	4,443	5,923	6,042	6,042
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
①森林づくり推進員活動 265日 1,590,000円 ②森林づくり間伐事業 31.00ha 235,870円 ③森林づくり基盤整備 9,540m 1,495,800円 ④再造林等 23.84ha 1,121,185円	森林づくり推進員の活動等により、除間伐の促進が図られた。また本事業により集材路の開設を行い、搬出コストの低減が図られた。また再造林への助成により再造林の促進が図られた。

事務事業コード	0106020502010203	事務事業名	森林環境税事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	当事業により森林施業が進み、森林整備が図られ、その結果森林が保全されるため施策体系に結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	森林・林業基本法第六条に「地方公共団体は、基本理念にのっとり、森林及び林業に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」と規定されており、森林の保全は市の役割であることから妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	木材価格の低迷による施業意欲の低下により、森林所有者からの施業同意が得られず適切な森林整備が行われていない放置林(民有林)が一部あるため、森林づくり推進員の活動日数を増やし、熱心な事業説明を行うことにより効果の向上余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	昨年度は消費税増税前の住宅の駆け込み需要で一時的に木材価格が持ち直したが、4月以降木材価格が低迷しており、補助金がないと施業経費の負担増となる。廃止すれば森林所有者の意欲が減退し、施業面積が減少する恐れがあり、森林保全に与える影響が大きい。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	木材価格の低迷により、採算性が悪化しており施業経費に対する個人負担が重く、補助金の削減は難しい。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	補助金申請、実績報告作成、補助金支払い事務等これ以上の業務時間削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は森林組合を通じて山林所有者への補助を行う事業であり公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	森林所有者から森林整備に関しての同意が得られず、放置された森林も多く、森林づくり推進員の活動を通じて森林整備のみならず森林保全の重要性の啓発を行い、森林整備を積極的に進めることで事業の有効性が高まる。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	森林づくり推進員の活動を通じて森林整備のみならず森林保全の重要性の啓発を行い、森林整備を積極的に進める。また、森林環境税関係事業において実施する除間伐等に対して、市においても積極的な支援を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								





平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	01106000502010204	事務事業名	森林整備事業	担当部	農林水産部	
				担当課	林務水産課	
政策名	02	自然にやさしいまちづくり		グループ	森林整備グループ	
施策名	01	自然環境の保全		電話番号	45-5111	
基本事業名	02	森林の保全		内線番号	2372	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 11 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	06 農林水産業費		根拠法令・条等 森林・林業基本法、務局市補助金等の種類及び補助率に関する要綱		
	項	02 林業費				
	目	05 森林整備事業費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

森林所有者の施業意欲の向上と健全な森林を育み、自然環境を保全することを目的として、除間伐に事業費の10%、作業路等の開設に事業費の32%の補助を行い、森林の適切な維持を図る事業である。  
 【事業実施主体】始良東部森林組合、始良西部森林組合、北始良森林組合  
 【事業内容】作業路等開設整備・民有林施業(除間伐)

H26年度実績  
 作業路等開設整備 2,271m  
 森林施業(除間伐) 350ha

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 作業路等開設延長	m	600	5,600	2,271	5,000	
イ 施業実施面積	ha	490	476	503	476	
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 民有林	森林施業計画面積	ha	14,605	9,832	21,964	11,000	
イ							
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 森林が整備される	施業実施面積 / 森林施業計画面積	%	5	4	2	6	
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 森林が保全される。	植林された森林面積	ha	23	30	32	30	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

木材価格が低迷し、山林が荒廃はじめたことから森林組合からの要請があり、平成11年度から助成を開始した。木材価格が低迷している。森林所有者からは、環境保護のため、森林整備へ更に支援の拡充を求める声がある。

4. 事業費の推移

単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円 0	0	0	0
	県支出金	千円 0	0	0	729
	地方債	千円 0	0	0	0
	その他	千円 0	0	0	0
	一般財源	千円 6,485	7,365	6,735	8,962
事業費	千円 6,485	7,365	6,735	9,691	

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
①除間伐 350.44ha ②森林作業道 2,271m	民有林の適切な維持管理が図られた。



事務事業コード	0106020502010204	事務事業名	森林整備事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	当事業により森林施業が進み、森林整備が図られ、その結果、森林環境が保全される。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	森林・林業基本法第6条に「地方公共団体は、基本理念にのっとり、森林及び林業に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、実施する責務を有する」と規定されており、森林の保全は市の役割としていることから支援することが妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	施業意欲や木材価格の低下等により、森林所有者からの同意が得られず適切な森林整備が行われない民有林(放置林)が一部あるため、間伐推進員活動等をさらに活用することにより成果の向上余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	昨年度は年末に向けて一時的に木材価格が高値で推移したが、1月以降木材価格が落ち込むなど安定しておらず、補助金がないと施業経費の負担増となる。廃止すれば森林所有者の意欲が減退し、施業面積が減少する恐れがあり、森林保全に与える影響が大きい。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	木材価格が低迷している現在は補助金がないと施業経費がまかなえない状況であり、これ以上、事業費を削減するのは困難である。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	業務内容は補助金の支払いの事務であり、これ以上の業務時間削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は森林組合を通じて山林所有者を対象として補助を交付する事業であり公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	本事業により森林所有者の施業意欲が向上し、森林施業が進んでいる。一方で、森林経営計画の策定が進んでいないことが施業の推進上の課題となっていた。平成26年度からは、国の森林経営計画制度の改正により、林班計画から区域計画への移行が可能となっているため、より一層の森林経営計画作成促進を図りつつ、除間伐に対する支援を行う。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	公共造林事業等(国庫)において実施する除間伐等に対して、市においても積極的な支援を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	01106000502010207	事務事業名	木質バイオマス安定調達支援事業	担当部	農林水産部		
				担当課	林務水産課		
政策名	02	自然にやさしいまちづくり		グループ	林務水産グループ		
施策名	01	自然環境の保全		電話番号	0995-45-5111		
基本事業名	02	森林の保全		内線番号	2371		
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H26 ~ H30 )			
	款	06 農林水産業費		根拠法令・条等			
	項	02 林業費					
	目	05 森林整備事業費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

東日本大震災・福島第一原子力発電所事故を契機に、再生可能エネルギーへの期待が高まる中、豊富な森林資源に由来する木質バイオマス資源の活用も注目されている。木質バイオマス発電は、チップ化された林地残材等を使用することから森林の整備が進み、森林の持つ公益的・多面的機能の向上や鳥獣被害防止対策として中山間地域の周辺環境の整備が図られる。そこで、用燃材同時生産による林業生産仕組みの変更に伴った燃料供給体制の確立を行い、供給側(山元)の経費の負担軽減と所得の向上を図るため、森林組合、素材生産者等の供給者が木質バイオマス発電所の燃料用に搬出する間伐材及び一般材に対して補助を行う。補助の対象は年間に最低限必要な60,000トンとする。  
 間伐材:年間利用量(トン)×2,000円~1,000円  
 一般材:年間利用量(トン)×1,000円~ 500円

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	木質バイオマス発電所燃料	トン			43,223	60,000	60,000
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	
ア	林地残材(未利用材)	鹿兒島県の林地残材賦存量	m <sup>3</sup>	429,000	458,000	487,000	516,000	545,000
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	
ア	木質バイオマス発電所で燃料として使用する	木質バイオマス発電所燃料	トン	0	0	43,223	60,000	60,000
イ								
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	
ア	森林が保全される	植林された森林面積	ha	23	30	32	30	30
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

木材価格の低迷により森林整備が進まないことが懸念されているが、今まで未利用だった森林資源が燃料として活用されることにより、森林の持つ公益性・多面性の向上だけでなく、雇用創出に伴う地域活性化などの効果が期待されている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			84,105	102,000	102,000
	事業費	千円	0	0	84,105	102,000	102,000
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
間伐材等 40,871.37トン 補助金額:81,742,740円 一般木質 2,361.91トン 補助金額: 2,361,910円	森林の整備が図られた。

事務事業コード	0106020502010207	事務事業名	木質バイオマス安定調達支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	当事業により森林施業が促進され、森林整備が進み、その結果、森林環境が保全される。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	森林・林業基本法第六条に「地方公共団体は、基本理念にのっとり、森林及び林業に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」と規定されており、森林の保全は市の役割であることから妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	平成26年度は本事業の初年度であり、事業実施主体の認知不足等により目標よりも少ない成果であったが、今後は発電施設の本格稼働や事業実施主体の努力により目標数量の達成が見込まれる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	本事業は平成30年度までの期間限定の事業ではあるが、現時点で廃止した場合、除間伐の未実施や林地残材の増加により森林の保全が進まず、森林の持つ公益性・多面性が損なわれる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	木材価格が低迷しており、未利用材を活用するための施業経費をまかなうためにも補助金額の減額は難しい。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	業務内容は補助金の支払いの事務であり、これ以上の業務時間削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は燃料となる木材の搬入量と一定の単価を根拠に補助金を支払うため、公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性<>						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	燃料調達に係る支援を行うことにより、未利用材の利活用を図り、森林整備を推進する。また、用燃料を同時に生産する林業生産体系への変更と、安定した燃料供給体制の確立を行い、素材生産者の経費の負担軽減と所得の向上を図る。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	燃料調達に係る支援を行うことにより、森林整備を推進し、森林の持つ公益的・多面的機能の向上や鳥獣被害防止対策として中山間地域の周辺環境の整備を図る。また、安定した燃料供給体制の確立を行い、素材生産者の経費の負担軽減と所得の向上を図る。							

8. 2次評価結果(担当部長評価)	
(1)事務事業の改革改善方向性	継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止
(2)総評	



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110600202010401	事務事業名	みどりの少年団育成事業	担当部	農林水産部		
				担当課	林務水産課		
政策名	02	自然にやさしいまちづくり		グループ	林務水産グループ		
施策名	01	自然環境の保全		電話番号	45-5111		
基本事業名	04	環境学習の推進		内線番号	2371		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 44 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	項	02 林業費					
	目	02 林業振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

次代を担う少年少女が「緑を愛し」「緑を守り」「緑を育てる心を養う」ことを通じて、人間性豊かな健康的で明るい社会人として育てていくことを目的として活動している。市からの助成等により、みどりの少年団の育成と健全な発展を図っている。

霧島市には市内4つの小学校にみどりの少年団が存在する。

竹子緑の少年団(32名) 竹子小学校  
 安良緑の少年団(44名) 安良小学校  
 霧島山緑の少年団(12名) 三体小学校  
 霧島小緑の少年団(16名) 霧島小学校

少年団の主な活動としては、みどりの感謝祭や地区交流会などの森林体験学習のほか、地区植樹祭への参加や街頭募金活動を行っている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア みどりの感謝祭開催	回	1	1	1	1	1
イ 活動発表大会及び交流会	回	1	1	1	1	1
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア みどりの少年団(4団体)	みどりの少年団員	人	140	117	104	100	100
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 活動を通じて森林の持つ役割を市民に伝え理解を得る	緑化活動へ参加した団員延べ参加数	人	1,753	1,626	1,657	1,500	1,500
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 環境に関する関心と理解を深める	過去3年間に環境学習に参加したことがある市民の割合	%	13	13	13	25	25
イ							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等**  
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

次代を担う青少年を大自然の中で緑を愛し、守り育てる心と健康で明るい心をもった人間を育てることを目的として開始され緑の少年団活動に取り組んでいる。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	201	198	201	265
		事業費	千円	201	198	201	265
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

みどりの少年団補助金(23,000円×4少年団) みどりの少年団バス借上料(35,359円)募金活動	少年団員数104名に対して、感謝祭・交流会・研修等の緑化活動に参加した延べ参加数は、1,657人と活動に生かされている。
---	--



事務事業コード	0106020202010401	事務事業名	みどりの少年団育成事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	みどりの少年団が緑化活動することは、次代を担う少年少女の環境に関する関心と理解を深め、森林の保全に結び付く。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	次代を担う少年少女に対して、自然環境の学習に取り組むことは妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	緑の少年団を有する小中学校数が増加すれば、緑化活動へ参加した団員延べ参加数が向上する余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	児童生徒数が減少し、緑の少年団の運営状態が難しい状況にあるなか、補助金を廃止した場合、存続が危ぶまれる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等  他に森林保全を目的とした、少年少女の対象団体はなく、他の団体との統合は難しい。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	【参考:昨年度の内容】活動経費としての体験学習等の部分を補助しているため教材費等の削減はできない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	緑の少年団の活動は、補助事業よって各学校の自主的な活動と運営がなされており、削除の余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	各みどりの少年団に同様の補助を行っており、公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	児童生徒数の減少と教育の多様化に伴い緑の少年団を有しない小中学校が多い中(小学校35校中4校)、活動に熱心な緑の少年団への支援を継続する必要がある。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	児童生徒数の減少と教育の多様化に伴い緑の少年団を有しない小中学校が多い中(小学校35校中4校)、活動に熱心な緑の少年団への支援を継続する必要がある。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								





平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	01106030202010401	事務事業名	なぎさの少年団育成事業	担当部	農林水産部		
				担当課	林務水産課		
政策名	02	自然にやさしいまちづくり		グループ	林務水産グループ		
施策名	01	自然環境の保全		電話番号	45-5111		
基本事業名	04	環境学習の推進		内線番号	2371		
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 6 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )			
	款	06 農林水産業費		根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱		
	項	03 水産業費					
	目	02 水産業振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

福山小学校の全校児童を対象にした自然風土を活用した特色ある教育活動で、マダイ・ヒラメの放流体験、海岸清掃等なぎさを中心とした環境教育を基本とした事業の一部を補助する。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 体験放流・海岸清掃・魚料理教室	団体	1	1	1	1	1
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア なぎさの少年団員	福山小学校児童数	人	25	24	24	25	25
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 団員に自然や漁業に関心を持たせる	放流活動。清掃活動に参加した児童	人	25	24	24	25	25
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 環境に関する関心と理解を深める。	過去3年間に環境学習に参加したことの市民の割合	%	13	13	15	25	25
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

なぎさを中心とした環境教育を基本にした諸活動を実施するために福山小学校で平成6年より開始した。5年前に比べると児童数が減少している。自然風土を生かした教育が得られることは子供達にとっても意義のあることなので、小学校関係者より事業を続けてほしいとの要望あり。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	30	30	30	30	30
	事業費	千円	30	30	30	30	30
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
26年度の実施活動 ○ヒラメの放流 3,300匹 5月21日 ○海岸清掃(海岸、国道周辺ほか) 7月20日 ○漁業についての学習 7月、2月	海岸清掃をすることやヒラメの放流体験等をすることで、錦江湾の生物を知ることや錦江湾の環境保全に対する理解が深まった。

事務事業コード	0106030202010401	事務事業名	なぎさの少年団育成事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	この事業を通して錦江湾の生物を知る機会が得られ、錦江湾の環境に対する関心と理解が深まるので政策体系に結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	小学生の頃から「なぎさ」に関する多様な体験活動を実施することで、環境問題や自分達の手で身近な海を守っていかなければならないという意識を持ってもらう動機づけを行えるため妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	事業目的以上の成果向上は見込めない。参加児童数は、殆ど100%に達していることとまた児童数も減る傾向のため参加児童数の増は見込めない。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	現在自然に触れ合う子ども達が少ない中、この事業が廃止となるとなお一層その体験活動の機会を失うことになる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	児童数が減少するなかでこれ以上の市の負担削減は難しい。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	自主活動がほとんどであり、事務局を職員が担っている訳ではなく予算執行事務が主なものであり削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受益地区は福山小学校のみに限定されているが、門戸は広げているので公平・公正である。(呼びかけをしていく必要あり)

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	養殖漁業や栽培漁業を学ぶだけでなく多様な体験活動をすることで更になぎさを中心とした特色ある活動を継続する。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	錦江湾沿いにある小学校の全校生徒を対象にした特色ある教育活動であり、マダイの放流体験や海岸清掃等体感することで、錦江湾の生物を知ることや錦江湾の環境保全に対する理解が深まるため継続的に取り組みたい。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)	
(1)事務事業の改革改善方向性	継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止
(2)総評	



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	01106030202010402	事務事業名	鮎まつり開催事業	担当部	農林水産部		
政策名	02	自然にやさしいまちづくり		担当課	林務水産課		
施策名	01	自然環境の保全		グループ	林務水産グループ		
基本事業名	04	環境学習の推進		電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 1 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条例等	務島市水産事業補助金交付要綱、務島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	項	03 水産業費					
	目	02 水産業振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

イベントを開催し、市の貴重な天然資源のひとつであり豊かな自然の象徴である鮎を広く市内外にPRするとともに、河川の環境保全・資源保護啓発の推進を図る事業である。隼人地区の日当山温泉公園で年に1回、6月1日の鮎解禁日後の日曜日に開催。関係団体(地域、漁協や商工会、旅館、観光協会など)によって組織される鮎まつり実行委員会が主催する。鮎の塩焼き・鮎飯の販売・活き鮎販売・魚のつかみ取り等各コーナーを設置し実施する。19年度から鮎の売上代金(鮎の塩焼き・鮎飯の販売・活き鮎販売)を徴収している。(平成18年度までは無料)なお、平成25年度については、雨天と突風のおそれがありイベントは、中止した。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア イベント開催数	回	1	0	1	1	1
イ 鮎まつりの参加者数	人	3,000	0	5,000	3,000	3,000
ウ 設置されるコーナーの数	箇所	4	0	4	2	1

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民及び市外からの来客者	来場者数	人	10,000	0	5,000	3,000	3,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 天降川が鮎の生息する自然豊かな川であることを知ってもらう。	鮎のつかみ取りの参加者	人	150	0	180	200	0
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 環境に関する関心と理解を深める	過去3年間に環境学習に参加したことの市民の割合	%	13	13	15	25	29
イ							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等**  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成元年、日当山天降川漁業協同組合よりまつを通して天降川の鮎を県内外にPRしたいとの要望により始まる。来客数も年々増加し、鮎のPRや河川の環境保全・資源保護啓発が図られてきたが、この事業が行政主体になっている。実行委員会のあり方を再考する時期にきている。

※24年度は、花火大会と合同で開催(8月に)。暑い時期だったため鮎のインパクトは弱く、不評。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,000	370	870	500	500
	事業費	千円	1,000	370	870	500	500
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
26年度は、梅雨時期のなか、晴天に恵まれ来客者も多く、霧島市の鮎のPRと河川の環境保全の啓発など図られている。	天降川の鮎や環境保全についてPRが図られた。

事務事業コード	0106030202010402	事務事業名	鮎まつり開催事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	天降川が鮎の生息する自然豊かな川であることを、市民及び市外からの来客者に知ってもらうことで環境に関する関心と理解を深めることになり、結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	環境問題について関心が多い昨今、市民一人ひとりが環境問題や自分達の川を守っていかねばならないという意識を多くの市民に持ってもらう動機づけを行う事業であるため妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	つかみ取りは、小学生(1年生～6年生)であり、川で体験する機会もないため参加者には人気があるが、来場者の目的が決まっているので、成果向上余地はない。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	廃止した場合、霧島市の川は鮎が遡上する自然豊かな川であることを県内外の人々に知ってもらう機会が減る。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	開催方法を工夫することでイベントの事業費の削減の余地はある。そのために26年度に調査研修(内之浦へ研修)を行う。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	開催方法を工夫することでイベントの規模を縮小できれば、それに関係する人件費は削減できる。今後3年程度の期間をかけて事務局移管も含めて改善する。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市民を問わず県内外の参加したいと思うすべての人が対象であり、公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善・コスト縮小 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	これまでと違う開催方法で実践できるように27年度に実行委員会で調査研究して進める。							
(3)平成28年度の方方向性・取組目標	これまでと違う開催方法で実践できるように28年度も引き続き実行委員会で調査研究して進める。事務局移管についても具体的に相談・検討して計画的に進める。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性									
(2)総評									





平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	01106030203010101	事務事業名	漁業資源繁殖施設整備補助事業	担当部	農林水産部		
				担当課	林務水産課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	林務水産グループ		
施策名	01	農・林・水産業の振興		電話番号	45-5111		
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援		内線番号	2371		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	項	03 水産業費					
	目	02 水産業振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

福山町漁協がアオリイカ、コウイカ等の産卵場所の少ない福山地区の沖合いにイカ柴を投入、また錦江漁協が浜之市沖に人口イカ産卵床を設置し、アオリイカ、コウイカの産卵魚礁を形成し、イカの増産育成に努め漁業の生産安定を図る。  
 補助金交付先: 福山町漁協、錦江漁協

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 補助金交付団体数	団体	2	2	2	2	2
イ 投入回数 (年度内)	回	2	2	2	2	2
ウ イカ柴投入数	回	90	90	90	90	90

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 海面漁業者	海面漁業者数	人	269	269	269	269	269
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 漁業資源が確保される	湾奥における漁獲高	円	465	465	465	465	465
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 効率的な生産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数	万尾	48	50	50	41	41
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

福山港沖はイカ等の産卵場所が少ないためイカの産卵魚礁を形成するためにイカ柴を投入し、イカの増産育成に努めたいとの地元漁協からの要望により平成17年から開始した。浜之市沖も錦江漁協青壮年部の自主事業でしていたが23年度より設置事業を開始した。水質の低下、水産資源の枯渇や燃油等の高騰により漁業を取り巻く状況は厳しくなっている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	270	270	270	270	270
	事業費	千円	270	270	270	270	270

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績 (取組) による成果を記載>
① 錦江漁協 人口イカ産卵床設置 30基 小浜海岸沖 福山沖 ② 福山漁協 イカ柴投入 60回	① ②アオリイカやコウイカの産卵用魚礁が形成され、イカの産卵育成と漁業の安定的な生産に貢献した。

事務事業コード	0106030203010101	事務事業名	漁業資源繁殖施設整備補助事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	イカ柴の投入を行うことによって漁業者の経営安定が図られるため、政策体系に結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	イカ柴の投入事業により漁獲高を上げ漁業者の経営安定を図ることができるために妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	漁獲高については、水質改善や天候等いろいろな条件が複雑に影響し合っているため、いまのところ事業目的以上の成果向上余地はない。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	湾内の資源の維持培養が難しくなり、また漁獲高が減少する。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費の殆んどは必要経費であり、削減は難しい。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	人件費としては、予算執行事務と投入立会いのみであるので、これ以上の削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受益者は全ての漁業者であるため適正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	事業の継続							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	事業の継続							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性									
(2)総評									



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110600503010101	事務事業名	森林整備地域活動支援事業	担当部	農林水産部		
				担当課	林務水産課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	森林整備グループ		
施策名	01	農・林・水産業の振興		電話番号	45-5111		
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援		内線番号	2372		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 14 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条例等	務局中森林整備地域活動支援交付金交付要綱、鹿児島県森林整備地域活動支援交付金交付要綱	
	項	02 林業費					
	目	05 森林整備事業費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

木材価格の長期にわたる低迷やコストの増大等による森林所有者の経営意欲の低下、また林業従事者の減少・高齢化により林業生産活動が停滞しており、森林施業が的確に実施されにくい状況となっている。  
 そのため、森林経営計画に基づく協定を締結した山林、または今後、森林経営計画に組み込む山林などで、下記の3つの地域活動を行った場合に、それぞれhaあたり定額の交付金を交付し、山林の現況調査や作業路等の補修を行い、森林施業の推進を図る。

①施業集約化の促進 30,000円/ha  
 ②作業路網の改良活動 10,000円/ha、6,000円/ha

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 支援交付金交付団体	団体	4	4	4	4	
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 森林整備協定締結者(団体)	協定締結数	協定	25	11	18	11	
イ 森林施業計画対象区域内の森林	支援事業対象森林面積	ha	12,325	5,402	9,033	5,402	
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 間伐等森林整備が進む	森林施業計画面積	ha	14,605	9,832	21,964	11,000	
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 体質が強化される	経営体が施業を実施した面積	ha	490	476	457	476	
イ							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等**  
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成14年度より森林施業の推進を図るため、国がこの事業を開始した。14年度から18年度までは支援事業対象面積に対し10,000円/ha交付していたが、平成19年度より事業の内容により単価を分けて交付するようになった。さらに平成23年度から森林経営計画制度が導入されたため、現在は森林経営計画へ移行している。これに伴い、本事業においても国により対象活動の大幅な見直しが行われている。特に要望・意見等は寄せられていない。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	36,112	15,800	11,311	15,852	15,852
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	12,038	5,130	3,563	5,147	5,147
	事業費	千円	48,150	20,930	14,874	20,999	20,999
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
①施業集約化の促進 267.0ha 8,010,000円 ②作業路網の改良 793.24ha 6,238,000円	事業により森林整備への関心が高まり、間伐や造林の促進が図られた。

事務事業コード	0106020503010101	事務事業名	森林整備地域活動支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	当事業により森林施業がすすみ、森林整備が図られ、その結果経営体の体質が強化される。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国の事業であり、公共関与は妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	本事業を実施することにより、森林整備の重要性を所有者に理解してもらい、森林経営計画(森林施業計画)への参加を促進し、また、施業の集約化を進め、施業の団地化を行うことにより、成果の向上余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	現在木材価格が低迷しており、廃止すれば森林所有者の負担が増えるため、施業面積が減少する。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等  国、県の実施要領に基づき事業を行っており、類似事業もないため統廃合・連携は難しい。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	国の制度により負担割合が決められており、事業費を削減するのは困難である。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	交付金の支払いに伴う事務が大半であり業務時間削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は森林組合等を通じて山林所有者への補助(施業前の森林現況調査や作業路網の改良等)を行う事業であり公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	国の制度改正に伴い、実施基準が変更されている。新たな実施基準に基づき適正な事業執行に努める。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、森林施業計画の作成を通じた計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、森林経営計画作成促進、施業集約化の促進、作業路網の改良を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)																	
(1)事務事業の改革改善方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>継続</th> <th>やり方改善</th> <th>コスト拡充</th> <th>コスト縮小</th> <th>連携</th> <th>統合</th> <th>休止</th> <th>廃止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止								
継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止										
(2)総評																	



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	011060202030101	事務事業名	しいたけ生産組織育成事業	担当部	農林水産部	
				担当課	林務水産課	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	林務水産グループ	
施策名	01	農・林・水産業の振興		電話番号	45-5111	
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援		内線番号	2371	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 48 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )	
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条例等 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	項	02 林業費				
	目	02 林業振興費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

近年、生産者の減少や高齢化により、乾、生しいたけともに生産量は減少傾向にあり、霧島市のしいたけ産業の振興を図るため、しいたけ原木の安定供給と乾しいたけ系統共販体制を確立する。また、しいたけの安定供給による良質・安定な食品等に対する市民の期待に応えながら、会員相互の連絡調整と技術の向上を図るために助成をする。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア しいたけ生産振興会補助団体数(本部・支部)	団体	4	4	4	4	4
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア しいたけ生産振興会員	しいたけ振興会員数	人	25	23	23	23	23
イ							
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア しいたけ生産量が増大する	乾しいたけ生産量	Kg	29,125	27,293	29,012	30,000	30,000
イ しいたけ生産量が増大する	生しいたけ生産量	Kg	119,961	119,695	137,086	120,000	120,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 経営体質が強化される	経営体が施業を実施した面積	ha	490	500	500	500	500
イ							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等**  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和48年に生産者の技術向上、生産性向上、経営の安定を目的として開始した。生産者の高齢化、安価な外国産の輸入、生産様式等の変化に伴う需要の減少など、しいたけ生産を取り巻く環境は厳しい状況にある。そのなか、霧島市のしいたけ生産者は、県の『かごしま農林水産物認証制度』を受けるなどし、安心・安全な県産特用林産物の供給体制づくりに努めている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	60	60	60	57
		事業費	千円	60	60	60	57
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
霧島市しいたけ振興会補助金(60,000円)本部・本部事業として意見交換会等を実施(4月11人参加) ・各支部事業として、ふるさと祭りの参加、お歳暮用しいたけ販売、品評会等各種事業を実施	霧島市しいたけ振興会の各種事業を通じて、生産技術の向上や生産量の増大、品質向上のための情報交換が図られた。



事務事業コード	0106020203010101	事務事業名	しいたけ生産組織育成事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	しいたけ振興会員への研修や活動を支援し、生産効率と質の向上を図ることは、しいたけ生産組織の経営体強化に結び付く。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	しいたけ生産組織の育成は林産物の振興を図るのにつながり妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	しいたけ振興会を通じて組織的に研修・活動し、生産性の向上に努めてきたが、しいたけ価格の低迷と生産者の高齢化により、生産数の向上は期待できない。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	補助金を廃止した場合、研修会や現地検討会等の活動の機会が減少し、組織の衰退につながる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 椎茸振興会のみ
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	しいたけ価格の低迷と、生産者の高齢化が進行し、振興会への会費だけでは運営が困難な状況にあり、補助金額の削減は組織の衰退につながる。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	予算執行が主な業務であり、事務局も委任されず職員の負担も少ないため削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	しいたけ産業の振興のため、事業者として生産者組織に加入し、活動するものであり、公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	・市場価格の低迷に対して、「原木しいたけ需要拡大緊急対策事業」への生産者周知を図る(申請先は県)。 ・椎茸振興会を通じて「かごしま特産林産物総合対策事業」の適用要望を受け、安定的な生産基盤の確立を図る。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	・椎茸振興会員の高齢化が進んでおり、新規会員の加入を促進する。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0106000103010101	事務事業名	林業施設維持管理事業	担当部	農林水産部		
				担当課	林務水産課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	林務水産グループ		
施策名	01	農・林・水産業の振興		電話番号	45-5111		
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援		内線番号	2371		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条例等	地方自治法第244条の2(指定管理)	
	項	02 林業費					
	目	01 林業総務費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市民に森林を利用したレクリエーションの場を提供し市民の健康増進を図るため、維持管理を行う。  
 指定管理施設・・・黒石岳森林公園、丸岡公園/バンガロー施設  
 直営施設・・・川原加工貯蔵施設、多目的研修集会所(川原、塚脇、清水)、松ヶ野地区林業集会所、溝辺竹子集会所センター、林構事業機械保管倉庫(鐘突)、福山食の交流館

直営施設は、適宜施設の修繕を行い施設の維持管理を行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 林業施設維持管理費(委託料)	千円	8,326	6,200	6,602	6,315	6,305
イ " (修繕料)	千円	111	506	1,095	600	600
ウ " (保険料)	千円	162	155	141	141	141

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民	人口	人	127,475	127,283	126,842	129,360	130,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 森林を利用したレクリエーションの場を享受し、健康増進が図られる	利用者アンケートで満足・やや満足と答えた割合	%	-	10	50	20	20
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 体質が強化される	経営体が施業を実施した面積	ha	490	500	500	500	500
イ							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等**  
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

林業施設については市の所有であり、施設に関わる維持管理(光熱水費、修繕料及び保険料)を市で行う。施設の維持管理については特に変化はない。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	8,655	7,326	8,747	7,904	7,613
	事業費	千円	8,655	7,326	8,747	7,904	7,613

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
林業施設の維持管理(光熱水費67千円、修繕料506千円、保険料155千円、委託料6,200千円)	一部の施設を指定管理委託することで、経費の抑制、サービスの向上が図られ、また、林業施設の維持管理を行うことで、林産物加工の促進につながった。

事務事業コード	0106020103010101	事務事業名	林業施設維持管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	林業施設の維持管理をすることは、林産物加工の促進、または経営の強化に繋がっているため意図に結びつくといえる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	収益とサービス向上が見込める施設は、指定管理者での管理とし、他は市所有の施設として、維持管理を市が負っている。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	利用者に満足度について、施設の老朽化などハード面では、向上が困難な点もあるが、接客や利便性など施設運営のソフトの面で改善を試みる余地がある程度ある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	施設に手が入らなくなることで、老朽化が進み、管理が難しくなることが予想される。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	既に必要最小限の経費で管理を行っており、これ以上の経費削減は管理に支障がでることも考えられる。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	施設維持管理のための予算執行事務が主であり、これ以上の削減の余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	施設の維持管理は、市民が安全に利用できる環境を整えるためであり、不公平は生じない。また、施設利用者から使用料を徴収し、受益者負担についても公平・公正であるといえる。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2) 平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	利用者数の増加に向けた取り組み及び施設の維持管理のため、指定管理者と連携する。							
(3) 平成28年度の方向性・取組目標	施設の老朽化が進んでおり、修繕等により市民が安全に利用できる環境を整える。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110600203010102	事務事業名	鳥獣被害防除・捕獲対策事業	担当部	農林水産部	担当課	林務水産課
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	林務水産グループ	電話番号	45-5111
施策名	01	農・林・水産業の振興		内線番号	2362		
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援					
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S44 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	06 農林水産業費					
	項	02 林業費					
	目	02 林業振興費			根拠法令・条例等	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律、務局中補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

近年、野生鳥獣による農作物の被害が恒常的に発生しているため、被害等の状況を的確に把握するとともにその被害防止策を図る。霧島市が捕獲従事者として依頼している捕獲隊に有害鳥獣の捕獲を指示し、農作物へ被害を及ぼす有害鳥獣捕獲を速やかに行い、被害の軽減に努めている。(捕獲報償金を支払う)

霧島市が有害鳥獣捕獲報償費の対象としている鳥獣は、イノシシ、ニホンジカ、タヌキ、アナグマ、ノウサギ、カラス及びニホンザルである。県が協議会を作り、基金を積み立てを行いそこから、捕獲者への必要経費の上乗せや、防護柵の強化等の補助を行っている。国の上乗率については、市の報償費にイノシシ・ニホンジカ・ニホンザルの成獣は8,000円幼獣は1,000円、アナグマ・タヌキは1,000円、カラス・ヒヨドリは200円である。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	有害鳥獣の捕獲指示	件	118	128	130	130	130
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 農林水産物	被害件数	件	235	250	243	230	220
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 有害鳥獣による被害を防止する	捕獲見込み頭(羽)数	頭(羽)	2,091	2,862	2,712	2,000	2,000
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 経営体質が強化される	施業により生産された材積量	ha	39,416	38,454	65,884	48,000	50,500
イ							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等**  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

鳥獣による農林水産物への被害を軽減するため昭和44年から実施が始まった。鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律が平成20年に施行された。鳥獣被害防止緊急捕獲対策事業も実施され、鳥獣被害に対する防除・捕獲対策が強化され、農・林業者からの電気柵整備等の申請も増加傾向にある。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	16,610
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	7,476	14,920	16,610	0
	一般財源	千円	12,777	17,610	13,115	12,024	11,996
	事業費	千円	12,777	25,086	28,035	28,634	28,606
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
有害鳥獣駆除報償金の交付(イノシシほか)2,712頭(羽)、27,612千円 捕獲隊への運営費補助(5団体、550千円)	捕獲隊員の減少を防止するため、新規加入の促進、わな猟免許取得促進により、わな免許取得者が増えた。特にシカ・アナグマの被害が増加しているが、罠によるシカの捕獲実績が増えている。シカの実績としては、1,011頭 アナグマ546頭の実績が上がっている。

事務事業コード	0106020203010102	事務事業名	鳥獣被害防除・捕獲対策事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	農林水産物への有害鳥獣による被害の防除及び捕獲活動で農林水産物被害を食い止めている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	有害鳥獣の捕獲については、狩猟免許等が必要であり、市が免許所持者に依頼し捕獲活動を行っていただいている。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	生息数の管理を行う事で、農林水産物への被害軽減につながる。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	本事業を廃止・休止した場合、農林水産業被害は莫大なものになりかなりの影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 他 の 事 情 等 は 無 い。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	捕獲実施にあたっては、銃器、罟ともに銃砲用火薬類や道具代などの経費がかかり、その一部を報償費で賄っているため、捕獲報償費の削減は捕獲隊の協力、同意が得られない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	【参考:昨年度の内容】 支所単位での事務(被害調査、捕獲指示等)の統一化を図り、効率的な事務事業を行う。 捕獲指示者は鹿児島県有害鳥獣捕獲許可事務取扱要領により市長となっているため、協議会等では出来ない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	捕獲者と信頼のもと、本事業を行っており証拠物の確認も国や県の指導のもと行っている。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	捕獲頭数について、計画的に指示頭数を行い管理を徹底していく。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	国や県の事業等を活用し、国・県・市一体となり有害鳥獣の防除及び捕獲に取り組む。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								





平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	01106030203010102	事務事業名	海面環境保全事業	担当部	農林水産部		
				担当課	林務水産課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	林務水産グループ		
施策名	01	農・林・水産業の振興		電話番号	45-5111		
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援		内線番号	2371		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 59 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	項	03 水産業費					
	目	02 水産業振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

桜島の火山活動に伴い堆積した軽石が梅雨、台風等の大雨の際に大量に海面に流失し、又河川からの流木等が海面に浮遊し福山港に漂着し漁船の航行を阻害するので、毎年海の日の前後に、重機等を使って除去する処理事業に係る費用の一部を助成する。事業主体:福山町漁協

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 海面環境保全事業	回	1	1	1	1	1
イ 漁船数	隻	60	60	60	60	60
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 海面漁業者	清掃作業の参加者	人	20	20	20	20	20
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 漁船被害の軽減	放流した稚魚の数	万匹	48	50	50	60	60
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 効率的な生産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数	万尾	48	50	50	41	41
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

県の桜島軽石等除去事業で実施されていたが、打ち切り予算となった。しかしながら、漁業関係者の強い要望により単独補助とした。台風時期等の浮遊物除去により被害解消及び海岸周辺がきれいになった(漁業関係者、周辺住民)。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	136	136	136	136
		事業費	千円	136	136	136	136
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

福山漁協 軽石、ゴミ等の除去 7月20日～7月21日	この事業をすることで漁場環境を保全し、刺し網、定置網、一本釣り等の漁業経営の安定化につながった。
----------------------------	--

事務事業コード	0106030203010102	事務事業名	海面環境保全事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	安全な船舶の航海の確保を推進し、漁業者の安定経営を支援することで政策体系に結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	漁業の振興及び環境保全への取り組みを支援することは、行政が関与することは妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市の予算も増額できないことと放流する稚魚や水質状況によるため事業目的以上の成果向上余地はない。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	安全な航海が確保できなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費のほとんどは必要経費であり、削減は難しい。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	予算執行等の事務のみであることから削減余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	安全な船舶の航海の確保を推進し、周辺漁業者全てが受益者であることから公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	この事業を継続すること							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	引き続き事業を継続する。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性									
(2)総評									



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	01106030203010103	事務事業名	漁業資源放流支援事業(種苗放流事業)	担当部	農林水産部		
				担当課	林務水産課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	林務水産グループ		
施策名	01	農・林・水産業の振興		電話番号	45-5111		
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援		内線番号	2371		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )		
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条例等	霧島市水産事業補助金交付要綱	
	項	03 水産業費					
	目	02 水産業振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

種苗(カサゴ10,000匹は、隼人町浜之市沖、稚鮎150Kgは、天降川水系の中津川・金山川・万膳川)の放流を毎年4月に行うことにより、資源の維持増殖に努めるとともに漁獲の向上を図り、地区漁民の生産を高め生活の安定を図る。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 補助金交付団体数	団体	2	2	2	2	2
イ 放流回数	回	2	2	2	2	2
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 海面漁業者	海面漁業者数	人	158	158	158	158	158
イ 内水面漁業者	内水面漁業者数		27	27	27	27	27
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 漁業者の経営安定	霧島市漁獲高	t	465	465	465	465	465
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 効率的な生産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数	万尾	48	50	50	41	41
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

年々資源が枯渇していく湾奥の水資源の維持や増大を図るため平成18年から実施。漁業者の高齢化や漁業資源の減少など水産業を取り巻く環境は年々厳しくなっている。水産資源の枯渇を防ぐためにも放流事業等を今後も続けてほしい(錦江漁業協同組合)。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	658	658	658	658
		事業費	千円	658	658	658	658
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
錦江漁協 カサゴの種苗(10,000尾)放流 市の補助 273,000円 天降川漁協 稚鮎150kgの放流 市の補助 385,000円	放流することで、漁業者の経営安定が図られている。また、天降川の資源の維持、培養に努め河川浄化の意識高揚につながった。

事務事業コード	0106030203010103	事務事業名	漁業資源放流支援事業(種苗放流事業)	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	稚魚の放流を行うことによって漁業者の経営安定が図られ、結果政策体系に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	種苗の放流事業により漁業者の経営安定を図ることができるため妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市の助成額が変わらず諸条件(水質改善や桜島の噴火の影響等)が整えば成果向上余地はある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	稚魚の放流を中止することにより、湾内の資源の維持培養が難しくなり、また漁獲高が減少する。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費のほとんどは必要経費であり、削減は難しい。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	人件費は予算執行事務と放流の立会いのみであり、削減余地がない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	稚魚は錦江湾の漁場に放流され、受益者は全ての漁業者であるため適正である。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性<						継続	>	
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止		
		○								
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	27年度もこの事業を継続することで漁業者の経営安定を図る。									
(3)平成28年度の方方向性・取組目標	今後もこの事業を継続することで漁業者の経営安定を図る。									

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性									
(2)総評									





1. 基本情報							
事務事業コード	01106000503010103	事務事業名	力強い木材産業づくり事業	担当部	農林水産部		
				担当課	林務水産課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ			
施策名	01	農・林・水産業の振興		電話番号			
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援		内線番号			
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H25 ~ H26 )			
	款	06 農林水産業費		根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱		
	項	02 林業費					
	目	05 森林整備事業費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

鹿児島県の森林資源が充実してきている中、間伐等の森林整備や林業生産活動に伴い生産される県産材の利用を促進することが重要な課題となっている。しかしながら、県産材の利用を促進していくためには、木材加工流通施設等の整備により低コストで安定的に供給できる体制を構築し、外材等に対抗する競争力の強化を図る必要がある。このため、鹿児島県森林整備推進等基金により、間伐材等の県産材の利用を促進し、林業・木材産業の活性化に資するため、木材加工施設・流通機械等の整備を行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 力強い木材産業づくり事業補助金	千円	0	24,250	1,030,884	0	0
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 県内の木材関連業者等	木材関連業者等の団体数	団体	0	1	2	0	0
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 県産材の利用促進	間伐材等の加工量等の目標数値の達成	%	-	-	-	100	100
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 経営体質が強化される	経営体が施業を実施した面積	ha	490	500	500	500	500
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

木材加工施設・流通機械等の整備を行うことによって、間伐材等の県産材の利用を促進し、林業・木材産業の活性化に資すると同時に、新たな雇用の場の提供にも繋がっている。

4. 事業費の推移

投入量	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円		0	0	0
	県支出金	千円		422,384	0	0
	地方債	千円		0	0	0
	その他	千円		0	0	0
	一般財源	千円		251	0	0
	事業費	千円	0	0	422,635	0

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果 <左記の実績 (取組) による成果を記載>

下記の木材加工施設・流通機械等の整備を実施した。 備さつまファインウッド かごしま材JAS化流通加工センター新築工事 H25繰越 交付額 608,500,000円 H26 交付額 399,250,000円 前田産業株式会社 チッパー1台 H26 交付額 23,134,000円	備さつまファインウッド かごしま材JAS化流通加工センターの新築により、加工用材を県内製材工場から調達し、県産材の利用促進がはかられ、県内外への販路拡大が図られた。 前田産業株式会社 チッパーの換装によりチップ生産量と生産効率が向上し、間伐等の県産材の利用促進が図られた。
---	---





平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0110600203010103	事務事業名	林業就労改善推進活動支援事業	担当部	農林水産部	
				担当課	林務水産課	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	森林整備グループ	
施策名	01	農・林・水産業の振興		電話番号	45-5111	
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援		内線番号	2372	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 3 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )	
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条等 務高市補助金等の種類及び補助率に関する要綱、財団法人鹿児島県林業振興基金等基金業務細則	
	項	02 林業費				
	目	02 林業振興費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

(社会保険制度等加入事業補助金)  
 林業従事者の福利厚生充実、技術、技能の向上及び労働安全衛生の充実を図る。  
 始良東部森林組合(9人) 596,200円 北始良森林組合(28人) 2,826,000円 始良西部森林組合(8人) 596,200円

(林業退職金加入促進事業補助金)  
 林業従事者の林業退職金共済制度の掛け金の一部を助成し、当該制度等への加入を促進することにより、林業従事者の就労条件を改善し、就労の長期安定化に資することを目的とする。  
 始良東部森林組合(9人) 320,100円 北始良森林組合(34人) 913,600円 始良西部森林組合(8人) 255,900円

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 補助金額	千円	5,574	5,696	5,860	6,528	
イ 交付対象者	人	101	111	116	111	
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 林業従事者	林業従事者数	人	101	111	116	111	
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 就労条件が改善される	社会保険等加入対象従事者	人	48	46	45	55	
イ 就労条件が改善される	退職金制度加入対象従事者	人	53	52	51	65	
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 経営体質が強化される	経営体が施業を実施した面積	ha	490	476	457	476	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成3年度から林業従事者の就労条件の改善による労働力の確保を目的として開始。

4. 事業費の推移

投入量	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	5,574	5,696	5,860	5,950	5,950
	事業費	千円	5,574	5,696	5,860	5,950	5,950

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

社会保険制度加入事業 45人 4,369,900円 林業退職金共済制度加入促進事業 51人 1,489,600円	林業労働力の確保、就労の安定化が図られた。
---	-----------------------

事務事業コード	0106020203010103	事務事業名	林業就労改善推進活動支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	林業従事者の就労条件の改善がなされれば、林業経営体の体質が強化されるため結びついている。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	林業経営が厳しい中、労働力の確保には就労条件(身分保障)の改善が必要であり、新規就労の促進、施業面積の増加を図る必要があるため妥当である。	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	継続的に支援を行うことで、林業従事者の就労条件が改善され、社会保険等加入対象従事者数の増加が図れ、林業労働力の安定確保に繋がる。	
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	事業体の負担が増すため、社会保障等の費用が増加し、経営を圧迫する。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	国(担い手基金)の事業で負担割合1/3が決定している。	
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	補助金交付事務であるため、削減する部分がない。	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	上位組織補助制度であるため、受益機会は公平である。	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	林業従事者の就労条件の改善を図るため支援を行うとともに、新規就労にかかる取組みへの支援を積極的に行い、林業事業体の施業能力の確保、向上を図る。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	林業従事者の就労条件の改善を図るため、林業退職金制度や社会保険制度等の加入促進のため支援を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	01106030203010104	事務事業名	漁業資源放流支援事業(パイロット事業)	担当部	農林水産部		
				担当課	林務水産課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	林務水産グループ		
施策名	01	農・林・水産業の振興		電話番号	45-5111		
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援		内線番号	2371		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 8 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )		
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条例等	霧島市水産業事業補助金交付要綱	
	項	03 水産業費					
	目	02 水産業振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

海面漁業者によるヒラメ3, 300匹とマダイ27, 623匹を単人町及び国分地先と福山町漁協地先沖合い50mにそれぞれ4月から7月にかけて放流を行う事業の経費について、一部補助を行う。

① 活動指標(事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	補助金交付団体数	団体	2	2	2	2	2
イ	放流回数	回	4	4	4	4	4
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 海面漁業者	海面漁業者数	人	269	269	269	269	269
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 漁業者の経営安定	霧島市漁獲高	t	465	465	465	465	465
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 効率的な生産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数	万尾	48	50	50	41	41
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

年々資源が枯渇していく湾奥の水産資源の維持や増大を図るため、平成8年度より開始された。湾奥に位置する漁場のため水質の悪化、漁業者の高齢化、漁業資源の減少等、漁業者を取り巻く環境は厳しい。漁業を取り巻く環境が悪化しているため、放流事業は継続してほしい(地元漁協)。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	194	194	194	194	194
	事業費	千円	194	194	194	194	194

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
ヒラメ3, 300匹とマダイ27, 623匹を単人町及び国分地先と福山町漁協地先沖合い50mに放流した。	放流することで、漁業者の経営安定が図られた。



事務事業コード	0106030203010104	事務事業名	漁業資源放流支援事業(パイロット事業)	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	稚魚を放流することによって漁協の経営安定につながり効率的な生産を行う基盤が整うので政策に結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	稚魚の放流事業により漁業者の経営安定を図ることができ、霧島市に隣接する湾奥の活性化にもつながることから妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	事業目的以上の成果向上余地はない。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	稚魚の放流を中止することにより、湾内の資源の維持培養が難しくなり、また漁獲高が減少する。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	【参考:昨年度の内容】 事業費のすべてが放流時の用船代等であり、削減は難しい。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	人件費は予算執行事務と放流の立会いのみであり、削減余地がない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業費を支給するのは各漁協であるが、その稚魚は公共の漁場に放流されるため、受益者は漁業者のみでなく、遊漁者等広く市民となる。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	27年度もこの事業を継続することで漁業者の経営安定が図られる。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	28年度もこの事業を継続することで漁業者の経営安定が図られる。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110600203010104	事務事業名	かごしまの特産林産物総合対策事業	担当部	農林水産部		
				担当課	林務水産課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	林務水産グループ		
施策名	01	農・林・水産業の振興		電話番号	45-5111		
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援		内線番号	2371		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 25 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	項	02 林業費					
	目	02 林業振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市は、しいたけ、センリョウ、たけのこなど、県内でも有数の特産林産物の生産地であり、特産品として山村地域の活性化や「観光霧島」の発展に貢献している。しかしながら、現在、特産林産物の生産を取り巻く環境は、生産者の高齢化、安価な外国産の輸入、生産様式等の変化に伴う需要の減少など厳しい状況にある。今後、生産量の維持・向上を図るためには、生産基盤の整備により、生産体制の効率化を推進する必要がある。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 生産基盤等整備事業	千円		1,150	731	243	500
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア しいたけ振興会	会員数	人	25	25	23	23	23
イ センリョウ振興会	会員数	人	22	19	18	18	18
ウ たけのこ部会	会員数	人	25	26	22	22	22

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア しいたけ生産量が増大する	乾しいたけ生産量	Kg	29,125	27,293	29,012	30,000	30,000
イ センリョウ生産量が増大する	センリョウ生産量	Kg	46,708	47,876	60,911	50,000	50,000
ウ たけのこ生産量が増大する	たけのこ生産量	Kg	34,144	30,749	23,386	30,000	30,000

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 経営体質が強化される	経営体が施業を実施した面積	ha	490	500	500	500	500
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

生産者の高齢化、安価な外国産の輸入、生産様式等の変化に伴う需要の減少など、特産林産物の生産を取り巻く環境は厳しい状況にある。その中、霧島市の生産者は、県の『かごしま農林水産物認証制度』を受けるなどし、安心・安全な県産特産林産物の供給体制づくりに努めている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			442	161	335
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			220	80	165
	事業費	千円	0	0	662	241	500
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
事業主体: 霧島市椎茸振興会 事業内容: 運搬機器 1台=637,200円 運搬機器 1台=471,960円 真空パック機 1台=220,320円 事業費合計 =1,329,480円 歳入(県補助額= 442,000円) (市補助額= 220,000円) (その他= 667,480円) 歳出 補助合計=1,329,480円	・運搬車や真空パック器により生産の効率化、生産量の維持が図られた。

事務事業コード	0106020203010104	事務事業名	かごしまの特用林産物総合対策事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	生産組織への支援により経営体の基盤を図り、また、生産基盤等の整備によって、生産量の維持・向上と生産体制の効率化推進に結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	特用林産物の振興は、山村地域の活性化や観光霧島の発展につながり妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	生産組織を通じて活動することにより、機器購入等の補助事業を受けることが可能になり、生産性の向上につながる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	補助金を廃止した場合、価格が低迷している中、生産活動の維持・向上が困難になる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	補助金を廃止した場合、価格が低迷している中、生産活動の維持・向上が困難になる。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	補助金の申請や交付事務などを必要最小限の職員で業務を行っており、削減はできない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	機器の購入には、受益者負担1/2があり、また、機器の共同利用規定が生産組織内で設けられ公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	・必要かつ有効な生産基盤等の整備を実施し、安定的な生産基盤の確立を図る。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	・特用林産物生産組織を通じて、「かごしま特用林産物総合対策事業」の制度の周知をはかる。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								



1. 基本情報								
事務事業コード	0110600303010201	事務事業名	林道等維持管理事業	担当部	農林水産部	担当課	林務水産課	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	森林整備グループ	電話番号	45-5111	
施策名	01	農・林・水産業の振興		内線番号	2361			
基本事業名	02	生産基盤の整備						
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 23 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )			
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条例等	林道管理条例		
	項	02 林業費						
	目	03 林道事業費						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画				

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市が管理している林道・作業道・作業路の維持補修工事、除草、保守点検など、林道機能の維持や通行の安全を図ることにより、森林整備の推進や木材搬出経費の削減を図る。  
 森林施業の管理などで林道を利用する際にパトロールを兼ねて林道の現状を確認し、維持管理上、危険と判断した箇所について補修工事や除草を実施。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 林道等の修繕箇所数	箇所	23	23	19	30	30
イ 林道敷払い委託延長	m	102,245	120,606	116,220	146,000	14,600
ウ 林道保守点検	路線	89	89	93	92	92

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 霧島市が管理する林道等	市が管理する林道の路線数	路線	89	89	93	92	92
イ 霧島市が管理する林道等	市が管理する林道延長	m	178,199	178,199	183,057	181,023	181,023
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 適切に管理される	林道利用に関する苦情	件	32	37	35	25	25
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 効率的な林業生産基盤が整う	林業生産基盤(林道)の整備率	m/ha	5.4	5.4	5.5	5.5	5.6
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

林道は森林管理を図る上で重要な社会基盤であり、市(及び県)が昭和23年頃から整備を進め、その維持管理を行う事業として本事業が開始された。林道の舗装がされるようになり、施業に利用する人だけでなく、集落間の移動に利用する人が増えたため、生活路線へ変化してきている。生活路線としての意味合いが出てきたため、一般利用者から交通安全対策等の強化の要望が増えてきている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	5,460	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	18,637	19,925	19,733	15,653	15,653
事業費		千円	24,097	19,925	19,733	15,653	15,653
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
林道等の修繕箇所数 19箇所 林道敷払い委託 116,220m 保守点検を行った路線数 93路線	林道の適切な管理ができ、利用者の安全が守られた。

事務事業コード	0106020303010201	事務事業名	林道等維持管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	林道及び作業道等の維持補修工事、除草、保守点検を行うことで、林道の機能維持や安全確保が図られ、それにより森林整備の推進が図られるため結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	林道の維持管理は市の役割であるため妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	林道の機能及び安全の維持が目的であるため、必要不可欠である。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	森林整備の停滞、山間集落の衰退につながる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等
	<input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業なし
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	林道を交付税対象となる市道に認定するなど、建設施設管理課と連携し、事業費の削減を図っておりこれ以上の削減はできない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	簡易な維持管理については職員で対応しているが、これ以上の経費削減は適正な林道の維持管理上、困難である。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受益者は森林所有者、作業従事者及び林道等利用者であり、林道管理は市となっているため公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	林道のパトロールを強化し、藪払い・支障木の除去・排水性能の確保などを適正に行い、通行に支障の無いよう取り組む。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	市が管理する林道・作業道・作業路等を適正にパトロールし、修繕箇所は早期に依頼し、計画的な除草作業を行い、利用者の安心安全を守るとともに、森林整備の推進、木材搬出経費削減を図る。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								





平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	01106030303010201	事務事業名	漁港管理事業	担当部	農林水産部	
				担当課	林務水産課	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	林務水産課グループ	
施策名	01	農・林・水産業の振興		電話番号	0995-45-5111	
基本事業名	02	生産基盤の整備		内線番号	2371	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 不明)		
	款	06 農林水産業費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	項	03 水産業費				
	目	03 漁港管理費		根拠法令・条例等		
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

漁業者や遊漁船の所有者等が安全に航行できるように漁港の案内灯や漁港内のアスファルト舗装等の修繕を行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市が管理する永浜漁港、国分漁港の維持管理費	千円	460	460	460	460	1,000
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 漁業者	2漁港の漁業者数	人	46	42	40	40	40
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安全に漁港を使用できる	2漁港の漁獲高	百万	29	44	35	40	40
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 経営体質が強化される	放流した稚魚の数	万匹	48	50	50	41	41
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

漁港については、漁業者だけでなく余暇活動として使用するプレジャーボートの所有者からも漁港の維持管理の継続を要望されている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			6,190	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			8,609	450	1,000
	事業費	千円	0	0	14,799	450	1,000
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
市が管理している永浜漁港と国分漁港の漁船案内灯の修繕と看板の修繕等を行った。	漁船やレジャーボートが漁港内外を安全に航行することができるようになった。また、漁港内の看板を修理することで、漁港を使用する漁業者や遊漁船等の所有者同士のマナーやルール等の周知徹底に成果が上がった。

事務事業コード	0106030303010201	事務事業名	漁港管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	漁港を管理することで、漁業者が安心して漁を行えるので、基本事業と結びついている。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市で管理している漁港であり、漁業者の所得向上にもつながるので妥当である。	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	限られた予算の中で、最低限の修繕等が行われており、大規模な改修を行わない限り向上の余地はほとんどない。	
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	廃止すると漁港の修繕ができなくなり、使用できなくなる可能性があるため影響がある。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市が管理する漁港を安全に使用してもらうための必要最低限の予算であり削減は困難。	
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市が管理する漁港であり削減は困難。	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	漁港は市民のすべてが利用できるため、公平公正である。	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	漁港を使用する漁業者やプレジャーボート所有者の使用に支障がないように維持管理する。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	永浜漁港については、補助事業等の導入や市の財政負担が可能であれば28年度に一体的な整備計画があるので、その計画的な調整や取り組みが必要。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)																	
(1)事務事業の改革改善方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>継続</th> <th>やり方改善</th> <th>コスト拡充</th> <th>コスト縮小</th> <th>連携</th> <th>統合</th> <th>休止</th> <th>廃止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止								
継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止										
(2)総評																	



1. 基本情報						
事務事業コード	0110600303010202	事務事業名	林道整備事業		担当部	農林水産部
					担当課	林務水産課
政策名	03	活力ある産業のまちづくり			グループ	森林整備グループ
施策名	01	農・林・水産業の振興			電話番号	45-5111
基本事業名	02	生産基盤の整備			内線番号	2361
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 不明) 不明 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )
	款	06 農林水産業費				
	項	02 林業費				
	目	03 林道事業費				
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価		関連計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

森林には木材生産機能をはじめ、国土の保全、大気浄化、水源の涵養等の多面的機能があるが、その機能を発揮させるには森林整備を適正に行う必要がある。  
 そして、森林整備を効率的に行うには、林道整備が必要となる。林道は林産物の搬出コスト低減、地域住民の生活環境改善や地域社会の進進に大きな役割を果たす。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	林道整備	m	945	988	633	500	750
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	林道開設路線 林道未改良(舗装改良)路線						
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	整備を推進する						
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	効率的な生産を行う基盤が整う。						
イ							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等**  
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

地元自治会や森林所有者より、山村地域の振興や定住環境の改善のために早期完成が望まれている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	8,100	8,100
	地方債	千円	43,800	62,500	51,800	46,400	46,400
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,676	4,732	4,742	4,660	4,660
事業費		千円	46,476	67,232	56,542	59,160	59,160
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
国分山麓線 用地・立木補償1式 荒平線 道路改良 L=69m W=4.0 18,400千円 大屋敷線 道路改良 L=284.26m W=4.0 8,640千円 大谷第2支線 道路改良 L=280m W=4.0 26,700千円	林道整備の完成・一部完成により、森林整備の促進が図られた。

事務事業コード	0106020303010202	事務事業名	林道整備事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	仕様や工法決定の段階で事業費の削減を図っており、削減の余地はない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	通常の事務については職員で対応しているが、設計積算や測量等の業務については委託を行っており、削減の余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2) 平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	早期完成を目指し、早期発注・工期短縮・経費削減に心がける。また、平成28年度以降の路線計画を各森林組合と協議を行いながら、10年計画の路網計画図を作成する。							
(3) 平成28年度の方向性・取組目標	事業費削減のための必要最小限の工法が適切に選定されているか検討を再度おこなう。また、継続路線の早期完成を実現させるため森林整備を計画的・効率的に進める。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								





1. 基本情報								
事務事業コード	0110600303010203	事務事業名	林道整備事業(県単)	担当部	農林水産部	担当課	林務水産課	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	森林整備グループ	電話番号	45-5111	
施策名	01	農・林・水産業の振興		内線番号	2361			
基本事業名	02	生産基盤の整備						
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 40 年代~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )			
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条例等	特になし		
	項	02 林業費						
	目	03 林道事業費						
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画				

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

森林には木材生産機能をはじめ、国土の保全、大気浄化、水源の涵養等の多面的機能があるが、その機能を発揮させるには森林整備を適正に行う必要がある。  
 そして、森林整備を効率的に行うには、林道整備が必要となる。林道は林産物の搬出コスト低減、地域住民の生活環境改善や地域社会の進進に大きな役割を果たす。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 施工延長	m	75	105	0	453	200
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 林道の未改良(路線・流末)・未舗装路線							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 整備を推進する							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 効率的な生産を行うための基盤が整う。							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

集落住民や山林所有者より、山村地域の振興や交通アクセスの向上、主・間伐材の搬出促進を図るために、早期完成が望まれている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	3,360	3,800	1,339	6,400	8,000
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	6,040	13,251	6,832	10,900	15,000
投入量	事業費	千円	9,400	17,051	8,171	17,300	23,000

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
上井線 用地測量 A=2.047ha 用地・補償1式 瀬戸山線 路線測量設計 L=650m	上井線については整備は途中であるが、用地購入や立木補償を行ったことにより、道路の荒れている箇所が整備が可能となった。 瀬戸山線については工事には未着手であるが、路線測量設計を実施したことにより、用地測量等への着手が可能となった。

事務事業コード	0106020303010203	事務事業名	林道整備事業(県単)	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	必要な箇所のみでの改良実施と仕様や工法決定の段階で事業費の削減を図っており、削減の余地はない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	通常の事務については職員で対応しているが、設計積算や測量等の業務については委託を行っており、削減の余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	設計図面を確認し、コスト縮減が可能か再検討する。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	両路線とも改良舗装工事を行うことで、一部完成による森林整備の促進を図る。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								



1. 基本情報								
事務事業コード	0110600299999902	事務事業名	林業振興関係各種協議会等参画事業			担当部	農林水産部	
						担当課	林務水産課	
政策名	3	活力ある産業のまちづくり			グループ	林務水産G		
施策名	1	農林水産業費の振興			電話番号	0995-45-5111		
基本事業名	1	農林漁業経営体への支援			内線番号	2371		
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ー 不明) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	06 農林水産業費				根拠法令・条例等		
	項	02 林業費						
	目	02 林業振興費						
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価		関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【各種振興会】  
 ・鹿児島県造林協会、鹿児島県水源林造林協議会、鹿児島県林業構造改善協議会、鹿児島県林業労働力確保支援センター、林道台帳管理、北始良地区林業振興協議会、始良東部地区林業振興協議会、鹿児島県造林協会、県治山林道協会の負担金・会費を通じて、各種振興会に参画する。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 各種振興会数	団体	9	9	9	9	9
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市経営健全化推進計画(第2次/改定版)(平成26年12月策定)において、持続可能な健全財政を確立するため歳出削減に関する取組を全庁的に推進する必要があるとされ、その中で、需用費や役員費については常にコストを意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・水道の浪費等を厳に慎むことで節減に努め、また、ランニングコスト削減に資する機器の導入等を検討し、維持管理費の削減に努めることとされている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			0	0	0
		県支出金	千円			0	0	0
		地方債	千円			0	0	0
		その他	千円			0	0	0
		一般財源	千円			1,719	1,731	1,731
		事業費	千円	0	0	1,719	1,731	1,731

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【各種振興会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島県造林協会負担金 22,100円</li> <li>・鹿児島県水源林造林協議会会費 5,000円</li> <li>・鹿児島県林業構造改善協議会会費 5,000円</li> <li>・鹿児島県林業労働力確保支援センター管理運営費負担金 63,000円</li> <li>・林道台帳管理負担金 325,500円</li> <li>・北始良地区林業振興協議会会費 200,000円</li> <li>・始良東部地区林業振興協議会負担金 400,000円</li> <li>・鹿児島県造林協会会費 10,000円</li> <li>・県治山林道協会普通会費・特別会費 136,750円</li> </ul>	負担金・会費を通じて各種振興会に参画できた。

事務事業コード	010602029999902	事務事業名	林業振興関係各種協議会等参画事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
	<input type="checkbox"/> 結びついていない		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
C 効率性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
D 公平性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	負担金・会費を通じて各種振興会に参画しているため、削除できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	負担金・会費の支払い事務および協議会への出席のみのため、削除できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性<						>	
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止	
		○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	負担金・会費を通じて各種振興会に参画する。								
(3)平成28年度の方方向性・取組目標	負担金・会費を通じて各種振興会に参画する。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止	
(2)総評									



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110600199999902	事務事業名	林業総務関係各種協議会等参画事業			担当部	農林水産部
						担当課	林務水産課
政策名	3	活力ある産業のまちづくり			グループ	林務水産G	
施策名	1	農林水産業費の振興			電話番号	0995-45-5111	
基本事業名	1	農林漁業経営体への支援			内線番号	2371	
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 不明)	
	款	06 農林水産業費				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )	
	項	02 林業費					
	目	01 林業総務費				根拠法令・条例等	
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価		関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【各種振興会】  
 ・始良伊佐地域林業活性化センター、全国森林環境税創設促進連盟会費、日本さくらの会賛助会の負担金・会費を通じて、各種振興会に参画する。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 各振興会数	3	3	3	3	3	3
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア							
イ							
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市経営健全化推進計画(第2次/改定版)(平成26年12月策定)において、持続可能な健全財政を確立するため歳出削減に関する取組を全庁的に推進する必要があるとされ、その中で、需用費や役員費については常にコストを意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・水道の浪費等を厳に慎むことで節減に努め、また、ランニングコスト削減に資する機器の導入等を検討し、維持管理費の削減に努めることとされている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			927	927	927
	事業費	千円	0	0	927	927	927

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【各種振興会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・始良伊佐地域林業活性化センター負担金 897,000円</li> <li>・全国森林環境税創設促進連盟会費 20,000円</li> <li>・日本さくらの会賛助会費 10,000円</li> </ul>	負担金・会費を通じて各種振興会に参画できた。



事務事業コード	0106020199999902	事務事業名	林業総務関係各種協議会等参画事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由			
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？				
	<input type="checkbox"/> 結びついている				
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている				
	<input type="checkbox"/> 結びついていない				
② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？					
<input type="checkbox"/> 妥当である					
<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？				
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある				
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある				
		<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない			
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？				
	<input type="checkbox"/> 影響がある				
<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない					
⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等				
<input type="checkbox"/> 類似の事業はない					
<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない					
<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる					
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	負担金・会費を通じて各種振興会に参画しているため、削除できない。			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない				
	<input type="checkbox"/> 削減できる				
⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	負担金・会費を通じて各種振興会に参画しているため、削除できない。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない				
	<input type="checkbox"/> 削減できる				
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？				
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある				

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
(1)事務事業の改革改善の方向性	【参考】前年度の改革改善の方向性<						>	
	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	負担金・会費を通じて各種振興会に参画する。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	負担金・会費を通じて各種振興会に参画する。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	【参考】前年度の改革改善の方向性<						>	
	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								



1. 基本情報							
事務事業コード	01106030199999902	事務事業名	水産業関係各種協議会等参画事業			担当部	農林水産部
					担当課	林務水産課	
政策名	3	活力ある産業のまちづくり			グループ	林務水産グループ	
施策名	1	農林水産業費の振興			電話番号	0995-45-5111	
基本事業名	1	農林漁業経営体への支援			内線番号	2371	
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 不明)	
	款	06 農林水産業費				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )	
	項	03 水産業費					
	目	01 水産業総務費				根拠法令・条例等	
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価		関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)  
 水産資源の維持、培養を図るための稚魚の放流事業やアサリやイワガキ等の繁殖事業を調査研究するために各種協議会に負担金補助をする。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 負担金支払い団体	団体	6	6	6	6	6
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 海面漁業者							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 漁業者の経営安定							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 効率的な生産を行う基盤が整う							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)  
 地元漁協、住民より水産資源の維持のため放流事業は継続してほしいとの要望がある。また漁業者の経営安定のためあさり、イワガキ等の繁殖事業継続の要望がある。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			0	0	0
		県支出金	千円			0	0	0
		地方債	千円			0	0	0
		その他	千円			0	0	0
		一般財源	千円			1,019	1,019	1,019
		事業費	千円	0	0	1,019	1,019	1,019
投入量								

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
始良地区水産業改良普及推進協議会 300,000円 豊かな海づくりパイロット自供負担金 611,000円 全国市町村水産振興対策協議会負担金 40,000円 海上保安協会負担金 30,000円 水域環境美化推進協議会負担金 20,000円 県漁港漁場協会負担金 18,000円	水産資源の維持が図られた、アサリやイワガキ等の繁殖事業の試験結果も順調で、漁業権も取得予定で漁業者の漁業意欲や気運が上がっている。

事務事業コード	010603019999902	事務事業名	水産業関係各種協議会等参画事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
	<input type="checkbox"/> 結びついていない		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
C 効率性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
D 公平性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	予算は、すべて負担金補助及び交付金のため削減できない	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	予算は、すべて負担金補助及び交付金のため削減できない	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
(1)事務事業の改革改善の方向性	【参考】前年度の改革改善の方向性<						>	
	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	適正な負担金交付事務を行う。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	適正な負担金交付事務を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	【参考】前年度の改革改善の方向性<						>	
	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

